京城日報

二十七日夕刊

定價 一部金二錢五厘 一ヶ月金五拾錢 三ヶ月金壹圓四拾五錢 六ヶ月金二圓八拾錢 一ヶ年金五圓六拾錢(郵送料前金)郵券代用二割增

廣告料 ▲五號活字一行金七拾錢 ▲欄內一行金壹圓貳拾錢 ▲定一行は二號活字の一行は五號活字の三倍 ▲六號活字は五號活字の一

發行兼編輯人 奥田直毅　印刷人 瀨口政太郎

京城太平通一丁目 發行所 合資會社 京城日報社 電話(編輯用)長三四五番 (營業用)長三二六番 振替貯金口座京城六〇〇番

◎京都御發輦
名殘を惜み奉る拜觀者卅萬

久しく京都に在らせられし 天皇陛下には御大典も滯りなく濟ませられ神宮、桃山、泉山御陵御親謁も濟ませられたるを以て二十七日朝九時二十分皇宮御出門警部騎兵前後を護衛し奉り掌典騎馬にて扈從し賢所御羽車は三十二名の輿丁之れを奉持し　陛下は六頭立の眩く麗はしき儀裝馬車に召され鷹司侍從長陪乘供奉員馬車騎馬等にて扈從し京都驛御著、文武百官奉送の裡に十時四十分還幸の途に上らせられたり名殘を惜み奉れる拜觀者は行幸日よりも多く三十餘萬に上り三千の警官嚴重に沿道を警戒せり此の日秋天澄み渡りてこよなき好日和なりき(京都特電)

◎日本を措いて如何せん

英支同盟說に就き某英國最高官は語つて曰く苟くも日本政府の同意と協力とに俟つことなくして英支交涉上何事をもなし得べきにあらずと(倫敦電報)

歐洲大戰亂

▲希臘協商國側要求承認條件

雅典來電に據れば希臘は終に協商國側の要求を承認せり其の要求條件は(一)領土內に侵入せる協商國側の軍隊の武裝解除を要求せざること(二)希國內にて軍事行動を許すこと(三)隨意に鐵道電信を使用することを承認すること にして之れと同時に協商國側は協商國の軍隊が一時希臘の領土を占領することあるも適當の時機には返還すべきこと及び相當の賠償をなすべきことを希臘に約したり(紐育電報)

▲羅國亦協商側に傾かん

希臘が協商國側の要求を容れたる爲め羅馬尼も亦協商側に傾ける徵候あり(紐育電報)

雜報

◎總統府の繁劇

國體變更問題進行に伴ひて總統府內の統率處內史處專電處の三機關は殊に樞機に參與せる爲日夜繁忙を極めつゝあり統率處にては內亂の蜂起を憂慮して頻りに防務會議を開き大總統の裁許を得ては之を地方長官に電報し地方長官よりの情報に接しては直に大總統に供申して便宜の命令を仰ぎ居り處員は殆んど不眠不休の狀態に在り內史處にては國體改革後の布告の起草論考及び現在の大總統批飭一切を審議立案するにより各內吏は何れも終日筆を措かず專電處にては從來とても中央地方間に電報日夜數十件に及びしに國體問題の發生以來政府各省側の商議電報非常に增加せるを以て此處も亦處員は相交代して達夜兼行執務する有樣也と(奉天)

◎袁氏登極は二月

奉天に於ける支那官場の消息によれば帝政實行期は一月ならんといふも右は單に例の袁氏皇帝推戴運動を促進せしめんとする一種の手段に外ならずして北京よりの最近密電にては二十日既に全國の國體投票を終了したれば明年一月參政院にて總開票を行ひ近頃組織したる大典籌備會の典禮行賀大赦免稅に關する籌備成るを俟つて二月袁皇帝は即位するに至る手筈なりと(奉天)

◎東三省特別省制案

東三省特別省制案の內容に於て總經略使及び經略副使を設くる事となり居たるが近く中央よりの消息によれば該案は又修正を加へられ上將軍府を長春に移して奉吉黑省の軍民兩政を統轄せしめ三省各經略使一名を置きて分治を行はしむる事となれりといへるが又一說には總經略使三省には各經略副使を設置すべしと(奉天)

◎總督府廳舍新營
總工費は三百萬圓—竣成期は大正十二年度—建坪地積二千百十五坪—鐵筋コンクリート五層樓

總督府にては曩に三百萬圓の經費を以て八箇年の繼續事業とし地を景福宮內に卜して新に總督府廳舍を建設す可く大正四年度豫算に十萬圓を計上したるも前年度豫算踏襲に伴ふ新規計畫事業繰延の爲め遂に沙汰止みとなりしは世人の知る處なるが大正五年度豫算に於ては一百餘萬圓の營繕費中より二十萬圓を計上し更に此計畫を復興したり、今其工事計畫の大要を聞くに廳舍の位置は弘化門內正面即ち舊の共進會場第一號館跡建坪總數二千百十五坪餘、地下室並に屋根裏を合せ五層樓として全部鐵筋コンクリート造りとなす豫定なれば工事完成の曉には現在の總督府廳舍に比し建坪地積に於ては多少狹隘の感あるも事務室、倉庫共遙かに廣大なる可し、而して工費の年度割支出額は最少限二十萬圓、最大限四十萬圓にして大正十二年度を以て竣工す可く明年度は基礎工事の一部、外壁の石材工事、鐵筋及び鐵骨工事の一部の外其他一般の準備作業を營む豫定なりと

◎勸業費中の新規事業
牧馬事業と滊船の購入—金銀鉛混合精錬と衛生試驗

明年度の勸業費は前年度に比し五千餘圓の增額に過ぎず、其費目に於ても若干の增減を見たる迄にして要するに前年度と差したる相違なきが如きも尚新規事業として矚目す可き三四の計畫あり、其一は勸業模範場に於ける牧馬事業の開始にして明年度は技手三四名を聘用し取り敢へず試驗的牧馬を爲し結果良好ならば漸次計畫を擴張す可く、四萬九千五百七十九圓の經費を計上せり、其牧場は大體內定せるも未だ發表の期に至らざるもの、如し、第二は水產試驗の擴張にして明年度に於て新に三萬圓を支出して百噸級の汽船一隻を購入し之れを以て漁業取締並に試驗船に充用の筈なれば本船は從前紛務側は素より總督府に於ても地方廳に於ても隨時使用さるゝ可し而して同船は上半期中に竣成の豫定にて前記造船費外六箇月間の運轉費約六千圓を計上せり、第三は保留鑛山の試掘進行の結果金銀鉛を混合試製錬を行ふに決し新に五萬八千四百二十二圓の經費を計上せり、第四は勸業費とは謂ふを得ざるも新に一萬七百七十三圓の經費を計上し中央試驗所に於て衛生試驗を開始する事となれり

◎朝鮮漁業不況
庵原水產技師談

朝鮮各地の漁業者は向後今後の成績に望を囑せざるに非ざるも兎に角今日迄の狀況は甚だ不漁にして痛心に堪へざる者あり全體暖潮時季は四月より十月に至り寒潮時季は十一月より翌年三月に及ぶ者なるが本年は暖潮時季中往々寒潮の混流ありて甚だ不結果なりしが今や寒潮時季に於て陸上の暖かなるが如く潮流も亦た甚だ暖潮を帶び華氏十七度位を上下せり十一月中に於て最も漁獲すべき慶尚南道鎭海附近一帶の鰯漁は例年百萬圓の收獲あるに本年は尚三十萬餘圓を擧げたるに過ぎず元山附近一帶の明太魚、石魚、鯖、鰤等も今日迄は甚だ不成績なれば漁業者の困年と迄は往かざるも兎に角全體に於て平年よりは大に收入を減ずべき見込也

◎新穀移出盛況

仁川現物市場は目下新穀出盛に際し活潑なる上に加へて大阪市場は非常なる活況を呈したるに仁川市場は割安にて相場引合ふ爲め移出頓に激增したる結果地方よりの廻著米引も切らず斗量場日々米の山を築き居れる狀況にて去る十五日現在庫入米二萬叺は昨今一躍五萬叺に達するの盛況を呈するに至れるが來る三十日出帆の乾坤丸にて約二萬叺來月二三日頃出帆の大運丸にて約二萬叺の大口移出ある筈なるが其他にも二三千位の小口移出は便船毎に積出しつゝあれば現在の五萬叺は來月上旬迄早々には全部出盡すべしと某當業者は語れり

◎立花總長東上

立花警務總長は大觀兵式參列の爲め太田副官を隨へ二十七日午前南大門驛發汽車にて東上せり

◎石塚長官歸期

大典參列の歸途東萊溫泉に療養中なりし石塚農商工部長官は二十七日夜同地發二十八日午前八時五十分南大門驛著汽車にて歸任す

人事消息

▲安住時太郎氏(陸議士) 廿六日夜水原より歸京

◎大阪より

▲ザラ紙の値上　內地生產のザラ紙は今次同業組合の決議による一連につき五錢即ち從前の價格に比して二分方の値上を協定し即時實行す可し

▲日露貿易發展　露國莫斯科市フルカツスキ通六番なる露國商工製造業者相互組合にては獨墺國以外の商品の販賣と擴張と共に商品の何物たるを問はず其見本代價賣買條件の送致を乞ふて大に日露貿易の斡旋を開かんとの報あり此の由を神戸駐在露國領事館に申越したりと

▲絹物類の好調　生絲相場の千百圓臺に昂騰せる稀有の出來事より絹織物相場は何れも一齊に好調を示せるが多織物は既に取引完了したる筈なれども米澤地方は十日前一割の値上げをなし甲斐絹は五分方引縮り其他五分乃至一割好調に向へるが生絲相場の崩落を見ざる限り來年度の夏物には尠からざる影響あるべしと

▲住友製肥擴張　住友製肥所の現在生產力は月五萬叺なれども過般製造賣出し居る成績によれば引續き注文生產力を凌駕する有樣にて其生產力を增加するは同所にとりて頗る緊要の事なりしが諸準備年末迄に完成し明年一月初めより月十萬叺の生產を見るべしと

▲東洋製粉計畫　大阪の平野平兵衛氏等企畫の東洋製粉會社は在來の日製粉工場を買收し同時に其事業を繼承する筈にて資本總額を五十萬圓とし之に對する一萬株は二十五日限り募集すと(大阪支局)

南言北語

支那を協商側に引き込む英、露、佛等の運動は果して效能になりかけた▲今更其の樣な事を云つたつて袁總統はフンと鼻であしらつて居る樣なが▲更に開き直つて支那に充分の利益と安心を與へて呉れゝば又た何んとかナアと色目でグイと三國を睨んだ處は拙づ揚明をやり居るソイ▲充分の利益と安心と云ふ言葉の裡には何がある目下支那の爲には三國の帝政承認以上の利益があらうか▲三國が帝政を承認すれば其れこそ袁總統は安心も安心大船に乘つた樣な心地になるのだらう▲袁總統の開き直つた心中は其處だと云つて三國とても日本と共に帝政延期を勸告した舌の根も未だ乾かぬ內に此の難題ではサア〳〵と睨み合ふ許りだらう▲英使ジヨルダン氏も何とか返事をイヤサ水心あれば魚心と袁總統に逆に振込まれて閉口して居るらしい▲由來外交の消息には一犬虛を吠えて萬犬實を傳ふ的のものが多いからピク〳〵して居た日にはやり切れない遂には神經過敏になつて狂氣にでもならなければならぬ▲が、餘り鐵拳を振り回しても何處にぶつかつて怪我をするとも限らない先づ自重が大事ぢや▲お隣りに無暗に振り回して居る帝政の鐵拳を見ても分る盲目が自轉車に乘つて居る樣で脇で見て居るとヒヤ〳〵する▲何うせ何處かへぶつかつて怪我でもせねば目が覺めまい可愛想な事だ▲奉天の段上將軍もお目出度帝政促進派の參謀長になつて北京へ榮轉する相なお目出度やら危ないやら何と申して可いやら▲其後任は吉林の王巡按使だと云ふが之れは何うも當にならぬ樣だ奉天には張作霖と云ふ豪傑も居るマア〳〵無事に事が納まれば結構千萬

第二期會員募集

時代に後れざらんとする者は速に本叢書に來れ

內容規定御申込次第進呈す
會費毎月壹圓宛 入會金貳圓(會費に通算す) 一時拂前金拾圓
入會 十一月卅日限

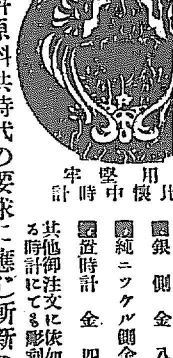
蘇峰 德富猪一郎監修　東京法科大學教授法學博士 吉野作造編輯

現代叢書

書目—配本月次
南洋 大正四年十二月發行
歐洲大戰 大正五年一月發行
極東の外交 二月發行
婦人問題 三月發行
現代米國 四月發行
新藝術 五月發行
獨逸主義 六月發行
滿業 七月發行
最新科學 八月發行
新聞 九月發行
極東の民族 十月發行
近時の經濟問題 十一月發行

▲郵送料本社負擔▲
大賣捌所 京城日報社代理部 京城大平通一丁目 振替京城三〇〇番 電話六六〇番

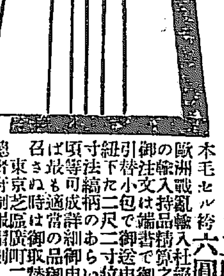
女學世界
十二月號
御大典拜觀記…紫陽花
光明皇后…黑板博士
裝飾品と女…長田秀雄
お茶の水一年記…北畠壽子
空想の時代…宮田修
三人娘華榮物語…眼の山姫
小說 毒蛇…千代子 內藤
疑惑…田口掬汀
惡緣に悲しまぬ人…須美すみ子
家風に逆つた嫁…苦勞した婦人の身の上話
無人島で漂泊した餘談
四十七の初產…婦人記者
持參金の附いた嫁探し…本田久
半生の功名をしたる女難史
定價二十錢(郵稅二錢)　東京本町 博文館 振替二四番



□御大典記念時計發賣
曠古の大典に際し絶好の記念品として斯道の大家一光先生の刀になる極めて秀逸の彫刻になる左の時計を實際的特價を以て發賣仕候
■金側 金六拾五圓
■赤銅側 金參拾八圓
■銀側 金八圓
■純ニツケル側 金五圓
■置時計 金四圓
其他御注文に依り如何なる時計にても彫刻仕候
責任保證　無比堅牢 實用懷中時計
寫眞機及材料原料共時代の要求に應じ斬新のもの至つて豐富に取寄勉強致候間不相變御注文の程奉願上候
京城本町二丁目 織居本店 電話二六二・三三九番 振替京城二三二番

☆☆☆
名刺用紙 製造發賣元
大阪明田鐵工所製印刷機械販賣代理店
大阪原田商店製各種インキ特約販賣店
印刷材料一式販賣
京城長谷川町七四 近澤茂平商店 電話三七五番 振替三三五三番
定價表見本無代進呈

セル御袴



法外なる投賣　御買求の好期
新セル袴 二圓八十錢
木毛セル袴 六圓五十錢 (送料十八錢)
歐洲戰亂輸入杜絶を見越し多數の注文品精算之上大安賣を致す御注文は端書で御申越相成れば引替小包で御送申上候寸法は普通紐下二尺二寸位なれば宜敷共御好寸法柄のあらい細いは御申越又は御頃等も詳細御申送り被下度御好は最も適當の品御送致し候御氣に召さぬ時は御取替申上候
東京芝區南佐久間町二十七番地
總督府制服帽劍商 洋服付屬品靴商
フジヤ 振替東京二八九一六

●あはれ天上の宴とこそ
拜しまつらん其夜豐明殿上の輝き
吉例こそ申し傳へて御能を天覽あり

天皇陛下には二十八日京都より御還幸來月七八兩日午後七時より各皇族方を始め奉り列國特派大使及び文武大官有爵者約二千餘名を宮中豐明殿に召され酒饌を賜ひ引續き夜會を催させられ

●能樂を天覽遊ばさ

るゝ御豫定にて是等御能の出演者は總て東京の家元ばかりなるが其中唯一人京都より觀世流の家元片山九郎右衛門氏の加はり居り同氏は準備其他の爲め上京中此程歸洛し往訪の記者に語つて曰く『御大典の御能は昔は必らず紫宸殿の前で御催しがあつたもので其の時には觀世と金剛と喜多の三流が御能を勸めたものです、私は觀世の七代目を繼いで居りますが二代目から五代目まで御大禮能を奉仕し其の都度末廣を拜領し其の末廣は現在私方の

家寶となつて秘藏

して居ります、此の御大禮能は孝明天皇の御即位まで御催しになり明治天皇の御時は宮中の御都合で御催しにならなかつたのであります、今回の御能に就て及ばずながら私も一役奉仕する事に定められたのは片山家の爲に此の上ない光榮であります、殊に私は第一日第一番の『翁』を奉任するのであるが、元來翁はなか〳〵重い役で昔は之を勸めるには前日六ツの時刻から他に別家し

一切不淨に觸れず

齋戒沐浴の上お勸めしたのであります、私が始めて高貴の御方の前で勸めたのは今上陛下の未だ東宮に在せらるゝ御時、私は當時十一歳で東京の中山邸に於て觀世清廉氏等と共に參勤致しましたに番組だけのものを勸めねばならず今回は午後八時から同九時三十分迄普通なれば翁が一時三十分間、高砂が一時三十分間、石橋が一時間と十分位かゝりますが

此度は翁高砂石橋

ともに各三十分間、第二日の橋辨慶、羽衣、亂が各三十分でまだ其間に三人長者が加はるのであるから大變なことであります、中にも翁は神歌だけであれば十分位で濟みますが、業をするのであるから餘程の時間がかゝる其れを翁千歳に十八分、三番叟に十二分、都合三十分と云ふ割付でありますが翁千歳に十八分間は迚も勸め難いのでもう十分間だけ延ばして貰ひたいと願うてゐるのです、何れにしても御天覽の時間の御都合上二日とも一として全部を勸める譯には參らないが兎に角此の御催しを得るのは斯道の爲無上の光榮であります云々（大阪支局報）

●監獄で病氣が癒つた
支那人罪囚聖恩の厚きに泣く

仁川分監在囚で今回の恩赦に浴して減刑されたるものは百二十三名で浴し得なかつたものが四十八名ある其内で一名の罪囚は令の條項に適はず他四十七名は揃ひも揃つて大正元年か同三年の何れかの恩赦に浴しながら再び罪を犯して入監したもの許りである前記減刑者中去る二十五日迄に滿期出獄したものは支那人男一名鮮人女二名で何れも涯りなき聖恩の難有きに感泣してゐたが就中支那人の孫增南の如きは阿片吸煙罪であつて猛烈な阿片中毒に罹り一時は生命にも係る樣な重態に陷つた爲め一旦刑の執行を停止されてゐたが其後少しく輕快に赴いて來て收監され其後分監の手厚き治療に依つて生れ替つた樣な健康體になつて非常に悅び出監の日を指折り數へて服役中圖らずも今回の恩典に浴して早く出獄することになつたので布村分監長が聖旨を傳へた當時彼は有難き聖恩に感極り一時は欷歔嗚咽感涙に咽び言葉も發し得ざりしと

●あゝ彼等遂に逸走す
獨逸俘虜將校二名支那に入る

逃走俘虜將校五名の中ザツクセー少佐とケンペ中尉は遂に國外に逃し去らしめたる不始末を演じたるが右に就いて下關警察署の取調べし所にては去十六日午前八時卅分下關著關門連絡船より上陸したる一外人あり

■紺の背廣に鳥打帽を目深に被り赤の短靴を穿ち直ちに山陽ホテルに入り佛國里昂大學教授ディス、ガランド（ロ）なりと稱し極めて平氣を裝へるも擧動不審の點多きより同警察署にては注意を怠らざりしも其時未だ福岡收容所より俘虜逃走の通報なかりし故、逃走俘虜とは夢にも氣附かず只巧みなる佛蘭西語をあやつる

■詞の中に獨逸訛あるより獨探にあらずやとの嫌疑にて注意を拂へる間、彼は釜山迄の往復切符を求め『今一度歸つて來る』などいひ同日午前十時十分發關釜連絡船にて朝鮮に去れり船中にては普通の觀光客と變りなく盛んに日本海海戰の談論など試みやがて釜山に著するや直に奉天迄の切符を求め

■朝鮮を素通りして十八日奉天著倉皇として天津に去りたるは寫眞に照してザツクセー少佐なりしこと判明せり之れより先き十三日午前八時二十分下關著關門連絡船にて上陸したる一外人は紺の春廣服に茶褐色のオーバーコートを纏ひ瑞典ストツクホルムの商人ニーセルンと稱し

■商賣上の要件を帶び上海に赴くものなりといひて同日門司發八幡丸に便乘して上海に向ひたるは其後福岡より取寄せたる寫眞にてケンペ中尉に相違なきを知れり福岡收容所よりの警報今少しく早かりしならば見す〳〵長蛇を逸せざりしものをと同署にては口惜しがり居れり（下關特電）

●露國巡洋艦釜山港内にて發砲す
實彈裝塡演習中の椿事

釜山港に碇泊中の露國軍艦オレル號は廿七日午前七時十分港内にて實彈裝塡演習中過つて發砲し一名即死二名水中に墜落す彈丸は牧島小學校前一町許の畑に墜落し更に海中に飛び幸にも何等の損害なかりし（釜山特電）

●切めて、なりたや竈焚に
朝鮮銀行で燒棄てられる紙幣の事

一姿しや銀行の紙幣燒き娘、燃ゆる想ひを煙にする』はチト語呂が惡いが朝鮮の紙幣發行銀行たる朝鮮銀行では何月一回宛古い破れた

▲銀行券を燒却する 而も一圓札は千圓一束に、五圓札は五千圓一束に、十圓札は一萬圓一束にして白骨の御文章も讀まず燒いて了ふ、竈は銀行の裏手にあつて銀行の發行課では普通『燒場』と稱して居るが圓筒形の大きな煉瓦竈に上から圓い穴を穿ち其の中に古紙幣を投入して下から石油かけた薪を燃やす方法になつて居る、然し破れたりと雖も穢れたりと雖も百圓札一枚は百圓、十圓札一枚は十圓であるから古い紙幣であるからと言つて勝手に燒き捨てる譯には行かない、先づ

▲古い穢れた紙幣になると其記號と番號を調べた上圓い少さな孔を穿ちこれを何萬枚、何百萬圓と記した燒却願書に作りさて愈よ火を燃す時には重役一名、監理官一名、發行課長一名の立會役が來て監視する事になる、燒き了れば立會人の封印を施した錠前をかけて一日おいた後ホースで水を注いだ上燒殼を引き出す、何分にも人の手垢や脂肪がついた上に赤い印肉の油が一緒になつて固まつてゐるが中には又若い女の

▲圓い團子のやうの怨やら慾深い支那人の想ひなどで一生浮ばれない紙幣もあらう、金即是空百萬圓が紫の煙一つになるのも惜しいものであるが燒くにも却々手數がかゝる、現今朝鮮銀行の紙幣發行高は約三千六十萬圓其の過半は一圓札の千四百八十萬圓で次は十圓札の千萬圓が多く五圓札は十圓と一圓があれば餘り必要のない上に鮮人などは五圓札の勘定に困る者もあるからやつと

▲四百萬圓の發行高である、從つて燒却するのも一圓紙幣が最も多いのである、又從來朝鮮で流通した紙幣は舊韓第一銀行券から今の朝鮮銀行券と移り變つた歷史を有つて居るが這回の新圓紙幣は色彩といひ壽老人の模樣と云ひ內地人、鮮人、支那人間に評判がよく紙質も王子の印刷局抄紙部で漉いた上等であるから發行以來まだ燒却したものは無いとの事、鮮人は多く橫長く疊み內地人は縱に折る習慣があるから這回は線緯を縱にしてあるといふ

奉祝假裝行列（大阪支局）
大阪俳優雁次郎一座

●木枯が吹くと世間は斯う變る
罪のいろ〳〵＝賭博＝密淫賣＝棄兒

朝鮮で下級細民の最も恐るべく結氷期は早や眼前に迫つて來た結氷になると一般の

■職業が靜止的になつて激しい活動の意氣は消えて來る官吏或は銀行會社員等は一定の俸給があるから別に大した困憊はないが其れに商業の方で著實な營業者には幾分の不景氣はあつても何等恐るゝに足らぬが茲に最も生活に苦しむものは

■無職者と勞働者とである、勞働者の中でも著實な職人大工左官などは結氷前に早く內地に引揚げ來春の解氷期に又渡つて來る者が多い恰かも雁鴨燕などの渡り鳥と同樣である、しかし歸る旅費もなく其儘居殘りとなるもので夏の間朝鮮の田舍の地方で働いてゐたものが結氷と共に事業が中止になつた人々は多くは

■京城に集まつて來る、京城に行つたら何かする事でもあらうと落合つて來る、恁うした勞働者の群れは京城に這入つて、汚らしい朝鮮人部落に僅か一間の溫突に潛り込み、細い煙りの下で新春の解氷を俟ち佗ぶるのである、建築、土工等は中止となり反對に衣食薪炭等の生活資料に趁はれる、爲めに場末の溫突に蟄居してゐる者の中には何を爲すとも分らずに

■兎角に食ふ丈を凌いでゐる者が多い、警官が左樣いつた裏小路の溫突などに目をつけ始めるのはこれからである。妙なもので冬籠りとなると賭博犯人と密淫賣とが殖えて來るといふ。商業を營んでゐるものゝ中でも商賈替へをする者とては下流のものである、夏の頃氷屋であつたものが飮食店になり

■汁粉屋甘酒屋等が殖える、其れから朝鮮人側に棄兒が續出するのも結氷期中が多い、是れも結氷期の生活難が生む影響である、總じて一般の職業も休止の姿であるが暖爐を拵へるもの、薪炭商などは昨今働き盛りである旅行者が減つて宿屋は茲二箇月許りは閑散になるといふ

●送水中止
廿七日夜七時間

二十七日午後十時より翌午前五時迄排水鐵管連絡工事の爲め鍾路電車交叉點より東大門に至る部分及び東亞煙草會社より東大門に至る以北鍾路消防所より水標橋を一週したる以北の箇所は斷水すべし

●釜山日報の奇禍
釜山日報社裏手一面紅蓮の焰炎々たりしが瞬くせる朝鮮時報社の延燒さへ免かれて

二十六日黎明釜山日報社工場裏手より火を發し約二時間の後寫眞銅版室を殘し全部烏有に歸したる椿事あり

■此の朝微風だに無く四邊の沈鬱なる空氣はいやが上にも重々しかりしが午前四時十分頃突然曉の靜けさを破つて警鐘鳴り響きたるより素破事ぞと起き出づれば恰かも釜山日報社裏手一面紅蓮の焰炎々たりしが瞬く間も無く火の手は家屋全部を舐め盡し黑煙濛々天を蔽ひて物凄さ龍頭山も爲めに猛火に包まれんとする程なりき

■急報に接し思案橋第二部消防詰所の小林消防手は眞先に驅付け續いて橋本署長以下釜山警察署員全部其他憲兵分隊よりは野津隊長以下各憲兵出動し非常線を張つて警戒怠り無く消防組は第一第二第三第四各部長各々驅付けて消防手を指揮し熱心に消防に努めたる結果隣接せる朝鮮時報社の延燒さへ免かれて同六時全く鎭火したるが始め火の手は非常の猛烈にて宿直員の驚き跳ね起きたる時は已に工場は黑焰に包まれて一歩も入る能はず僅かに營業部事務所の中より重要書類數冊及び金庫を取出したるのみにて他は如何ともする能はず全部烏有に歸したり

■出火の原因は目下釜山署に於て關係者及び宿直員を召喚し詳細取調中なるが其の前夜芥川社長は京城日報社の失火に鑑み高木時報社長と俱に火氣に注意すべき樣語り合ひ歸社後芥川營業部長に嚴重に火氣を取締る可き旨命令し置きたるより芥川營業部長も自分各室を巡廻したる事實ありて火の氣は毫も無かりしのみならず出火時刻が已に午前四時前後と言へば或は放火なる可しとの疑ある由にて更に一說には失火と言ひ漏電と唱しつゝ有るが釜山署の見込にては放火に非ざる可しとの事なり

■損害は編輯、營業、文選、植字、印刷、機械の各部に別れたる一棟及びバラツク建一棟全燒社長社宅半燒等にして其の他活字は溶解し機械は再び使用するを得ず損害頗る多額に上る見込なるが共同火災保險會社に一萬五千圓の保險に附し居るを以て其の幾分を償ひ得べく同社にては何とか應急の策を講じて出來得る限り一日も早く二頁新聞を發行し諸整理付き次第從前の通り六頁新聞を發行する由にて已に諸種の準備に著手中なりと（釜山支局）

●山東鐵道沿線

支那人の一室を借受け居住しゐた者にて支那人等は留治が二千圓を所持し居るを探知し謀殺せんとて對治を

者金田萬次郎氏の講演及び講習は廿七日午後一時より京畿道廳にて（講

宗教界消息

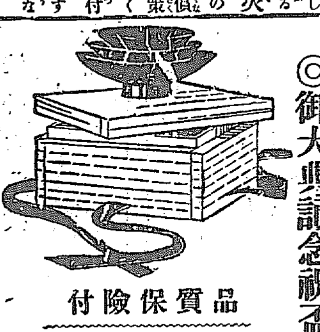
◎救世軍の集會 十一月二十七日（土曜）午後七時

◎新嘗祭 二十八日午前十時より曹洞宗大本 從容錄の提唱

◎日本メソヂスト教會 廿八日午前十時 午後七時

は從來吉武甲子功、木村竹太郎其他有志の合資經營なりしが今回事業の整理と共に吉武氏一

天氣 晴一時曇 十一月廿八日



◎御大典記念祝盃（御即位式當日の郵便局記念スタンプ押捺）
三ツ組（大 直徑四寸 中 同三寸五分 小 同三寸）
桐箱入
朱塗金蒔繪鳳凰麒麟八咫鏡（記念文字入）
壹千組を實盛して猶ほ續々御込有之候に付更に二百組限り記念スタンプ
料金壹圓貳拾錢を受け荷造費共（一個）に付分讓可致候御申越次第引替小包にて送る
品質保險付
京日仁川代理部 仁川濱町 電話三四〇番

食料品雜貨
食料品 青果物 海産物
果實 青物
問屋 岩城馨商店
京城旭町一丁目（電話八四二番）
振替口座京城一〇〇六番
南大門市場御卸部

無双醇良清酒

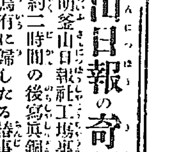
衛生無害 品質無双
首藤合名會社吟造
精白米御小賣 キリンビール
サツポロビール 醬油 甲鑑萬
各種シトロン 三矢布引サイダー各種
朝鮮發賣元
首藤京城支店
黃金町（電話一一七一番）

婦人科 產科
入院分娩應需
京城旭町壹丁目
院主 衣笠茂
中央婦人病院
（電話二三四〇番）

運動具は京城シノサキに有り
秋期カタロク進呈

京城本町二丁目
篠崎運動具店

THROAT
スロート
▲タンにて常にゴホンゴホンと惱む人
▲ゼンソクにてゼイゼイいき切する人
▲セキ頻に出て夜半オチ〳〵眠れぬ人
▲肺病にて常に力なきセキの出る人
▲流行感冒より起るタンセキ出る人
▲其の他諸病のタンセキ特効あり
▲スロートは理論に適ふたくすり菓子
▲小兒百日ゼキ、はしかゼキに頗る妙
▲寒空の今日此頃は、呼吸器の用心に
▲音聲使ふ人常に用ふれば咽喉を滑に
▲事務旅行家は賞代用に非是めしあれ
▲論より證據まづお試しあれ（二十錢）
製造發賣元 東京市京橋 東京スロート商會
特約店 京城本町二丁目 古城贊化堂


高等 煎餅型、燒印、刻印 木型一式
製造販賣並に修繕
仁川花町壹丁目
榮土政楠工場

◉淸會線設計變更 總經費三十四萬餘圓

九月上旬の水害の爲め設計變更されたる淸會線第一、二、三工區の被害部分は輪城停車場以東淸津間を除くの外新設計を具して淸津建設事務所より去月來本局に打合中なりしが今回變更設計を認可され各區請負者は新設計に依りて工事進行の準備中なるが新工費は一工區約六萬圓二工區約廿二萬圓三工區約六萬圓總計三十四萬餘圓なりと而して現在に於ける工事狀況を聞くに第一工區は被害最も甚だしかりし輪城附近を除けば既に殆んど完成し工事區域は新に一哩餘の基面增高と一哩餘の線路改築部分及び鳩岩隧道のみに縮少せられたれば出動人夫も五百名に減せり第二工區は工事進捗して九月上旬頃は著しく就役者を減じたるも被害著しく新に二箇の隧道及び五哩餘の線路改築其他基面增高等殆ど着手前後の舊態に復し就役者も增加せり第三工區は隧道が主なるを以て從來と差したる增減なく隧道を除きては何れも十二月中旬迄工事續行の豫定なり尙ほ本年中に請負入札に附せらるべき筈なりしも水害の爲め一頓挫を來せる第四工區の豫定線變更部分測量の爲め派遣の測量隊は既に測量を了して淸津事務所に引揚げたるが成案入札に附せらるゝは來年度早々なるべしと

◉國境生牛取引 氷上交通開始と共に旺盛とならん

國境龍幌牛市場に於ける生牛取引輸出近況を聞くに十月中は頗る旺盛にて六百頭價格一萬五千六百五十一圓に達せるが本月に入り急に牛價下落し一フート三圓四五十錢を唱るに至りしを以て一時取引輸出中止の姿なりしが最近市價一フート五圓六七十錢に騰貴したるため取引稍活氣を呈し來り盛に輸出せらるゝに至り一日より十八日迄に三百九頭八千十五圓に達せり然るに中旬より豆滿江結氷を始め十九日には既に舟楫杜絕するに至りし爲め取引を了せる畜牛百二十餘頭は輸出する能はず市場に滯在し居れるが結氷終り以上交通開始せられなば渡船賃を要せざるのみならず交通便利となるを以て輸出上好都合にて一層市場の盛況を來すべく尙ほ本月四日には市場開始一周年記念として龍幌に畜牛品評會を催し餘興として競馬等もありしが當日は桑原道長官代理として山崎事務官出席し露國側よりも煙秋子移民長官、警察署長其他露國商人等十八名渡鮮し來り擧式に參列日露官民交驩する所ありしは國境稀有の現象なりし

◉咸北の潜水漁業

咸北道沿岸潜水器漁業は九月中旬頃より十一月中旬迄元山より數隻の潜水器船來漁しつゝあるが咸北道沿岸の海鼠の漁獲に從事しつゝあり本年は慶興郡楡津に五隻富寧郡龍渚に二隻來漁したるが其成績を見るに著手以來毎日一器に付き一艪より二艪の採取あり一器多きは五十餘艪少きも二十八艪を獲一艪の價格二十一圓廿五錢に仕切たりと云へば一器千圓以上の所得あり之を炭製とせば北鮮海鼠は品質秀逸なるを以て最高價なる百斤八十五圓に上るべしと

◉露支國境碑新設 支那の主張通りに

咸北道慶興郡古邑對岸琿春縣下洋關坪の露支境界碑は木製なる故に昨年洪水の爲め流失して今何れの所か其位置不明となれり地圖には一號二號と次第に號を追うて之を樹てありしが元來經緯度の觀測ならざるより各其地點を爭ひ紛擾を來したりしも今回支那側にては其主張通りに境界を定め再び境界碑を樹つる事となりしが之れ露西亞は戰爭に多忙にして到底支那の主張を拒むの勇氣なしと推測し主張を枉げざりし結果支那側の主張通りになりたるものなりと

◉長岡雲海公傳を讀む

我王政復古の秋に際し、華冑出身者にして、平生の大義を唱へしもの、蓋し少からず、然れども大概は一藩一藩の大夫にして、或は彼等を擁して、天下に呼號したるも、身勞臣の出たると雖も單身王事に盡し、寢食を忘れ、時に矢石を冒し、報國盡忠の誠を致せしもの、熊本に於ては之に比すべきものなからん、公は肥後細川家の出、幼より出て長岡氏を姓とし、其之助と呼び、後隆英と改む、戊辰の役に於ては、公未だ青年の身を以て、大活躍を試み名聲一時天下を壓せしものありき、明治維新後、公三十一才なる以て、洋學を修め、大志を抱いて歐米に遊ぶ事數年、歸朝して、益々邦家の爲め盡す事大にして、華族に列せらる、晩年東亞の經綸に關しては、其名聲赫々たるものあり、殊に公は詩文に巧にして、洵に天賦の詩人たり、偶々長岡護美公傳を見る、書は細川侯爵家の編纂なり四卷に至り、公の傳記を收め、更に詩六卷よりなる附錄あり、志士として有力家としての公の事蹟を見、文人としての公の詩才を合せ見る時は、洵に其崇高なる大偉人に接するの感あり、殊に附錄に於ける雲海詩集、おもひ草は、實に國を思ふの心を傳へしもの、月瀬紀行、郡風紀行、鹿島詣の記、秋の一夜の記を讀む時は、公の風雅韻事を偲ぶこと少からず、附錄四、五、六卷には雲海詩鈔、雲海詩鈔續編、南遊雜詠を收むる事、實に數百首、詩に至ては特に公の最も意を得たるものにて、句々何れも皆に大家の風格を存する趣に於て、後世の學ぶべく吟ずべきもの頗る多し(非賣品長岡家發行)

◉北鮮鱈漁好況

本年淸津近海の鱈秋漁は初漁以來益々好況にして本月中旬迄の漁獲高は既に二十萬尾を越え從來秋鱈漁獲數の記錄を破り昨年同期の十萬尾に比すれば倍額の豐漁なるが尙ほ今後も引續き十萬内外の漁獲あるべき豫想なれば生鮮にて一萬圓乾製とすれば三萬圓前後の漁獲あると見て可なるべし然るに内地に於ける干鱈價格は南淸地方輸出向好況なるを以て漸次高騰し昨年同期に比し百斤に就き一圓方の高値を示し九圓八九十錢の取引なれば淸津の製鱈界は一層の活氣を呈せり

◉總稅務司來安

北原總稅務司アグレン氏は國境稅關事務視察の爲二十六日午前八時二十五分急行列車にて安東縣に到著せり

◉道長官歸任

鈴木忠北道長官は二十七日午前六時半無事歸任

◉佐々木長官歸任

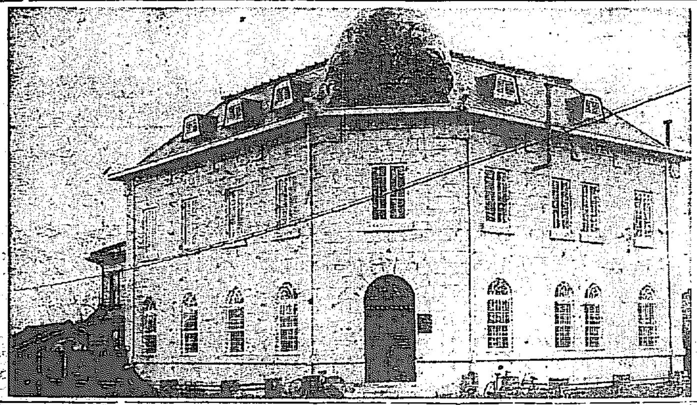
慶尙南道長官佐々木藤太郎氏は口石書記を隨へ二十六日十時三十分急行列車にて釜山出發歸署したり

◉櫻井警務部長

管内巡閲のため去る十八日以來各分隊警察署分遣所駐在所巡視中の櫻井忠北警務部長は三十日歸任の筈

◉平安農銀の發展 壽町の新築成る

平安農工銀行は尺蠖の暫屈するは伸んが爲めなると等しく久しく整理に沒頭の觀ありしが平安農工銀行は壽町の瀟洒宏大なる新築家屋に移轉すると同時に多年蓄積扶植せる地盤に起つて爾後大に西鮮の財界に雄飛すべしと傳へらる今同行の近狀を査するに現在資本金は二十萬圓(一株二十圓全部拂込)商手形組合基本金五萬圓政府貸下金卅九萬六千五百圓農工債券發行高五十萬圓合計百十四萬六千五百圓を運轉資金とし平壤大和町、鎭南浦、安州、義州、新義州、博川、寧邊、海州、沙里院の各地に支店を置き銀行長朴儀鉉、取締役金泳澤、同尹聖運、同林熙敎、監查役李明煥、同劉光祚の諸氏を重役に擧げ少壯有爲の中西喜久男氏を支配人に聘し去華就實を旨として銳意業務の刷新を圖りたる結果今や本支店を通算して半年間に預金五百萬圓貸出は三百五十萬圓の運轉を些の硬塞も見せず極めて圓滑に爲し了せ現在百五十二萬圓の預金と二百八十萬圓の貸出を擁し本年上半期に於ては缺損補塡、配當平均の準備金を控除して尙ほ克く年五分の配當を爲し得るに至れり試みに最近の考課狀を見るも其の營業狀態は日に堅實に向ひ今後財界の恢復と相俟つて其の貸附金の整理も愈々順調となり所有流込み等の地所家屋は益々賣價を昂めむとしつゝあり



新築の平安農工銀行

◉服役滿期憲兵

忠北憲兵隊管内に於ける本年の滿期兵は下士五名上等兵六名なりと

◉忠州小學校落成式 公立

忠州尋常高等小學校落成式は二十五日午後二時擧行臨席者の主なるものは道長官代理齋藤一部長湊判事徐郡守立野學務主任田中郡書記酒井郵便局長前田普通校長河野農銀支店長其他内鮮官民六十餘名にして宇野管理者開會の辭に亞ぎ道長官湊判事徐郡守等の式辭あり宇野管理者謝辭を朗讀せり式後午後三時より立食の宴を催したるが管理者及び評議員酒間を斡旋し主客歡を盡し午後五時散會せり

◉吉井主計來淸

京城憲兵隊司令部附吉井一等主計は會計事務檢查のため二十六日淸州に來り廿六日は憲兵隊本部廿七日は警務部廿八日は警察署廿九日は憲兵分隊の日割にて檢查をなしたる上陰城鎭川忠州に向ふ由にて關係諸官廳有志は廿六日夜北一樓に歡迎會を開きたり

◉撥馬競賣

忠北憲兵隊管内忠州分隊にて四頭鎭川分隊にて一頭芙江分遣所にて一頭の撥馬競賣を廿七日行ひしが補充馬匹は廿七日淸州著の上各地へ其れ〲送らしめたりと

商況

大阪株式特電

種類	拂込額	前日後場止値	廿五日前場
宇治川水	[illegible]	…	七〇、二〇
神戸電鐵	[illegible]	…	…
京阪電鐵	[illegible]	…	四四、四〇
和歌山紡	[illegible]	…	…
合同紡績	[illegible]	…	二六、三〇
鐘淵紡績	[illegible]	…	二二四、二〇
同新株	[illegible]	…	二三、三〇
東洋紡績	[illegible]	…	一七〇、〇〇
大阪商船	[illegible]	…	七六、三〇
日本郵船	[illegible]	…	二九、二〇
大阪米穀	[illegible]	…	六六、九〇
東京新株	[illegible]	…	三七、六〇
大阪株式	[illegible]	…	八〇、三〇

大阪三品特電

廿六日後場

	寄付	大引
	一一八、二〇	一一八、一〇
	一一九、二〇	一一九、三〇
	一二〇、〇〇	一二〇、三〇
	一二〇、九〇	一二〇、五〇
	一二三、一〇	一二三、六〇
	一二三、五〇	一二三、八〇

大阪期米特電

廿七日前場

	寄付
十一月限	一四、〇一
十二月限	一四、二〇
一月限	一四、二二
二月限	一四、六四
三月限	め止
四月限	

下關期米特電

廿七日前場

	當限	中限	先限
	[illegible]	[illegible]	[illegible]

朝鮮物產特電

仁川玄米三十錢

(木浦 倭玄 其他の玄米二十錢高)

雜報

◉株式の跳返し

過日來株式市場は相場の急騰を逆ふせし程の出來高の激增に伴れて人氣熱狂的と化せり出來高は北濱市場二十四日の二十四萬株を新記錄破りとして遂に二十九日以來に至らざる盛況にて二十二日以降は依然前場の一と場限りに引續きの休會しつゝありしが漸くにして二十五日に至り反動を示して暴落し瓦落せしと雖も部分的には未だ一呼吸さして相場の綾なす迄にて却つて押し戻す程の勢力の強大なるを見ず二十六日には大株九圓高の百八十三錢と更に高値を出して北他に一路に暴落し形勢愈々不穩の兆ありしが今朝は尙東京大阪共に入電に接せざれば果して如何に成行かるゝか知るを得ざるも斯くの如く電報の遲著より察する時は暴落を前日來に增したる恐慌の悲觀を叫ぶに足らん

◉支那麻の前途

市場の大勢なる需要期にあれども一二番乃至三番作は其の成行を氣構へ需要者共三番出廻り待ちの一商況を呈し居れるが該麻の産地の減少せる折柄なるを以て保合にて相場も依然として商況の走り四十錢の一尙ほ最近横濱小倉及び函館の方面にても走りの盛況を來し居れり

◉品位良好

本年の品位は昨年に比し大差なく良好にして尙ほ新物の出廻りを待たれつゝあり該新物に對する内地各市場の約定少く相場は十八圓三十錢所にして前記の如く好況を見るべし

◉我が製麻業は稀有の好況

歐洲戰亂の結果として歐洲輸出麻並に本邦製品の輸出も盛にて本邦製麻業者は今や未曾有の好況を呈し居れり殊に本年は軍需品の注文も加はり各會社とも手持少く爲に相場は益々高價を唱へつゝありて此際新麻の出廻りを待つ有樣にて市況頗る好調なり

◉浪平續て値上 五錢方の値上

浪平板は今朝又復大阪の高電を受けて尺貫共に五錢方の値上を見たり即ち平板は一圓八十五錢より一圓九十錢となり又大阪よりの電報にては六尺板一圓二十錢にて約六十錢方の暴騰を示したるが是は歐洲戰の影響なりと

◉牛皮の其後 六十五圓處依然正味

牛皮市場は一概に買氣を失へるにあらざるも三十斤内外の並目物としては相變らず買進み模樣にて相場も前回の六十五圓處を維持し又十五斤乃至二十斤迄の處なれば相應上値の望あるも目下の出廻り品中には買人の欲する品揃ひの蒐集困難にて又不揃品は兎角安値に陷り易く一般の市況は何れかといへば小甘きの成行きなれども一時買氣の旺盛なるに附込み多量なる肉片の附着を多からしめしのみならず頭尾有姿の儘なる生皮及び乾皮の強ひて買取引行はれ折角改良の實を擧げて北鮮牛皮の聲價を認められつゝある乾皮の品位を失墜せんとしたるは遺憾なり

其筋の取締り嚴なると共に品質の復舊を見るに至りしより漸次買止めせんとしたる當業者も此度は漸く安心せしと共に次第に取引增加の模樣あり

◉燐寸益々强硬

燐寸は頗る好氣配にて最近の大阪相場はボスの二十七圓三十錢を報ぜり當地の如き目下ボスは品切にて如何とも仕難きも殘部手持品の唱へは三十圓以上を唱へ比較的在荷を有する者も安全に之に連れてヂリ〱引締れり

◉織布類稍々動く 地方注文の增加

織布類は續く投げ物に各自新期の約定を手控へつゝありし處漸く地方注文の增加を見るに至り此處幾分直りの模樣を呈し來りしと共に一部現品の拂底を告げつゝあるが何分割安品の散布せる折柄眼前捨賣の廻品をも控へ居る事とて相場は一向利目なく此頃粗布一等品は相變らず百十九圓見當な仲惱みの姿なり

吉 海岸通 仲買店 吉行 電話 長九一二三 四〇三 京城三一五六 電略『ユキ』又は『三』

◉鳥山の出穀狀況 二百叺内外に止まり

鳥山昨今の出穀は玄米こそ日々可成りの實物ありと雖穀の如きは至極少數にて今尙同地穀物業者の威梁を充たす能はず又中白は最近市日の出廻りに至つては殆ど皆無とも稱すべく目下京仁各地より續々注文入込むに連れ多少割高に買進まんとする手に入らず自然人氣は强腰に向けつゝある一方にて相場は中白十三圓乃至十三圓一二十錢を唱へ居れり又玄白米は引續き京仁には不引合なるを以て主さして割高地の釜山に輸送せしつゝあり向現下同地の出穀中大豆が約半數以上を占め釜山及び内地直接に積送せられつゝありと

田中 一名田中金六商店 仁川米豆取引所仲買人 仁川海岸町三丁目 電話長一五二二番

下關相場

△朝鮮白米も好況 其後の出廻り左程多からぬのみならず内地期正米の合を唱へ各米主の賣り腰強きに依り相變らず人氣好況を極め之れが爲々强硬なる情報を傳へ居て依然不引況を演じ居るに連れ産地よりは多の出來直は左の通りにて其後の輸入は三百二十叺と外にチョロ白米二百五十叺等なり△大豆は底强し 本日も太田物二百十叺永洞物二百五十叺元山物三百八十叺侯舘物二百六叺等の輸入ありしが依然産地の人氣安からぬのみならず米價高の影響として一般の人氣活況を呈し來りたるより各手持筋の意嚮も强含に依り相變らず市況左程人氣

各地商況

△朝鮮白米一等 十三圓六十七錢
△同 二等 十三圓十錢
△豐前糯米 十五圓三十四錢
△肥前糯米 十四圓二十三錢
△長端大豆 九圓
△德源大豆 八圓五十錢
△沃川大豆 八圓八十錢
△深川大豆 八圓九十錢
△元山大豆上品 九圓二十五錢

○木浦(二十五日の穀物)△米況(曇天)昨日の雨天さ本日の雨模樣との爲に著しく沈滯兩日共檢米不能にして玄米の出廻りを見ず午頃一時晴模樣なりしも須臾にして又々重々しき水含み空に人氣全然沈滯せり△午前中の商談を聞くに大田より森田へ石拔白米二百梱十二圓三十錢にて出來穀の出廻りは八九百梱へ九十錢より五錢一杯十錢見當にして何れも天候厭止

京城正米

各地の强硬さ現物薄と倶つて依然氣强き市況なるが朝來の氣配は先づ前日同様の持合ひにて時々手合せ行はれつゝあり

仁川現物市場

△入荷數約八九百俵通常四圓九十錢氣配强人氣△正米中白三四十叺氣配は依然強人氣なるも午前中商談行はれず△大豆約千五六百叺氣配は地場買進りにて强人氣

生魚市場

入荷愈々少なく一般人氣も稍々之に連れて良好を示しつゝありと雖今一段底强からず從つて相場も頭打の氣味に比し小高しといふ迄なり目の丸市場平均出來値左の如し

タイ一二、チヌタイ一六、サワラ一八、ヒラス一三、ヤツ一〇、ヒラメ九、カレイ一〇、アナゴ一〇、アツ一〇、ブルマエビ三三、モエビ一七、サゴシ六、ハツチ三〇、サヨリ一三、メコ九、甲イカ九、ボラ七、コノシロ九、カラスセ、コチ九

仁川米豆取引所仲買人 仁川海岸町三丁目 三巴仲買店 電話長三三三番 電略番號(ミ)又(三)

仁川期米

△廿七日前場 大阪前寄十四錢高の入電 昨日より六十四錢高の入電に當地中出來不申先九圓七十七錢さ一錢高に寄付前に八十錢と擧げたるが大阪三前七十四錢四節高 七十四錢と高移りに五錢と上伸したるも戻りは實物多く八十錢と押し一錢と頭重き散會

△二十七日前後 先限㊀九圓七十七錢八十錢一錢八十錢一錢㊁八十四錢五錢四錢五錢四錢二錢四錢㊂八十四錢八十四錢五錢四錢二錢一錢八十一錢一錢八十錢一錢

市場零聞

△前場の商戰(八百石賣)于七百石買へ干六百石賣二百石買三千三百石賣四百石賣五百石賣七百石買二千百石賣八百石買五千石賣二百石賣八百石買六百石賣八百石買

△前場伸び悩み 大阪の上寄を受けて九圓七十七錢と寄付たるも直に八十錢に乘せ其他大阪筋より賣向たるも直に八十錢と上伸せしが戾りは賣物顯はれ其他

△利喰賣に支へ 無碍に上伸せず八十錢と押し一錢と頭重き散會を告げたり市況は昨後場不勢の情報を受けて買進む手口なく爲に伸み惱みの風情に見受けられたり

△月末の關係も 月末に見えたる事にて買い手控へ納會するならん

△期米眼先觀 大阪の大立直り十圓丁度さ上伸したるも大阪の不勢に連れ忽ち九圓七十一錢と押し今前場は八十錢前後に

◉朝鮮米の眞價を認む

小康を見せたるが大阪相場に比し如何にも頭重く伸び惱みの感ある一面正米界は内地注文引續き入込み來るより移出口の買物多く爲に市場は賣物漸く新へ居れるが是等移出檢査實施の爲め産米改良に依り内地各市場にて朝鮮米の眞價を認めたると價格の割安なるより自然注文續み居る爲に目下恰も新穀出盛り期なるより内地注文に應じ居れるゝ丹は一時的の現象と見るを得べし早晩不引合となるの時來るならん

割安な感 相場伸び居る

期米界は一般に正米より見て割安なる成行にて正米界は好況を續け居る

三 顧客本位正確迅速 仁川米豆取引所仲買人 サンビキ仲買店 電話四三三番 五二二番

賣玉 尙軟

覺悟したる大阪相場の…れば下賣らん氣勢を示し居れるは必ずしも賣逃り人氣のみならず此れ主因は前報の如く新穀出盛期の米であるが大阪出場の惡勢は何時か反動をきたすならんとの人氣は一致し居る者の如し

喰玉 硬軍主力の利

喰玉は急ぎ目先相場の伸び惱みに離れし居る向も種有り之に反し硬軍は目先の問題は別として前途高を見込んでの買思惑である來年は供給不足に依つて或る程度迄高値あるものと信じ居るのである割安さ見ての買思惑であると時機の到來を俟つ者の如し斯る次第なれば目先新規材料の顯はれざる限り大した騷動なく今月中は保合に終らん

廿七日の一月限

仁川米豆取引所

場	前
寄	一九圓七十七錢
高	一九圓八十錢
安	一九圓七十五錢
止	一九圓八十一錢
附	一九圓七十七錢
出來高	一萬四千五十石

平均値段	
一節	九圓八十一錢
二節	九圓八十四錢
三節	九圓八十一錢
四節	九圓八十四錢
五節	九圓八十一錢

買賣取組高	
十一月限	五千九百石
十二月限	二萬一百石
一月限	三萬四千七百五十石

仁川米豆取引所仲買人 仁川海岸町三丁目 ㋑今村覺次郎 電話長三三七番 三六八番 電略イ又ハ「イマ」

北濱だより

過般來人氣の頂天に達したる株式界も餘りの奔騰相場に漸く浮足となつて二十五日に至つて忽々反動相場を演出したるが近來の成行は端株類のものゝ三日こそ狂熱相場を演じたものであつたが主力株は未だヘメを外して買過ぎては居らぬのみか警戒は頗る嚴重であつて多數は既に利喰を濟した跡であるから投退く者も尠なかろうが一方から考へると軟派の猛烈に鎧ひて此兩三日中に煎れ退のた者も過半ある模樣だから其恨み相場としても今日の押目は當然であるのみならず目下目待ちの買物は下へ〱と潜んで居る樣子だから此上に無碍に崩落するとも云ふ事は先づ無からうと觀察せらるゝのである

▲堂島米穀株

今期の營業成績は極めて良好であつて聞く處によると二割以上の配當も不可能であるまいとの說も所によりては大事を執つて一割六步位の意向であると傳へらるゝのであるが株主中には之に甘んぜず一割八分以上の配當を要求する樣子で重役も市價上昇の割合に無碍に拒絕も出來まい入が有るもので去りながら獨占株の多額配當は自然に世上の非難攻擊を醸すの虞がある又或は新株の拂込み徵收して配當は多くせぬであらうとの說もある果して何れが正鵠を射たるかは後日に讓するの外は無いが議株は某氏の手に多數を占められて居たので之を嫌厭する向が多かつたが俄かに開く處では他へ分割せられたもの尠くない樣であるから今後は此點に懸念が無い事となつたので押目は買妙味があらうと思ふのである

優等淸酒 富安

醸造元 福岡縣三井郡山川村 富安本店

發賣元 京城永樂町二丁目 富安京城支店 電話一〇二三番 振替口座四一三九番

★ 資本金五百萬圓 頭取 安田善三郎

株式會社 百三十銀行京城支店 京城本町壹丁目 電話(長)五八番一九四番 振替貯金京城一一一二番

銀行一般の業務精々御便利に御取扱申候 爲換取組先は内地各方面並朝鮮樞要の地に有之候

攝津灘 大塚釀造所吟製

發賣元 京城本町四丁目 前田酒店 電話一三七番 振替口座四一二五番

贊化病院 京城本町二丁目 電話二四番

入院隨意 普通病室並隔離病室

院長 醫學博士 古城憲治

尿。便。血液。喀痰等臨床的檢査の依賴に應ず(毎日五名を限り無料施療す)

最上醬油 京城本町三丁目 田中支店釀造 電話七六四番

比較は最良の撰擇法なり サクラ正宗 サクラ正宗

京城明治町一丁目 山邑京城支店 電話八四九番 振替京城五七番

酒精アルコール 猩々印特等品、壹等品貳種新荷著精々勉强可仕候

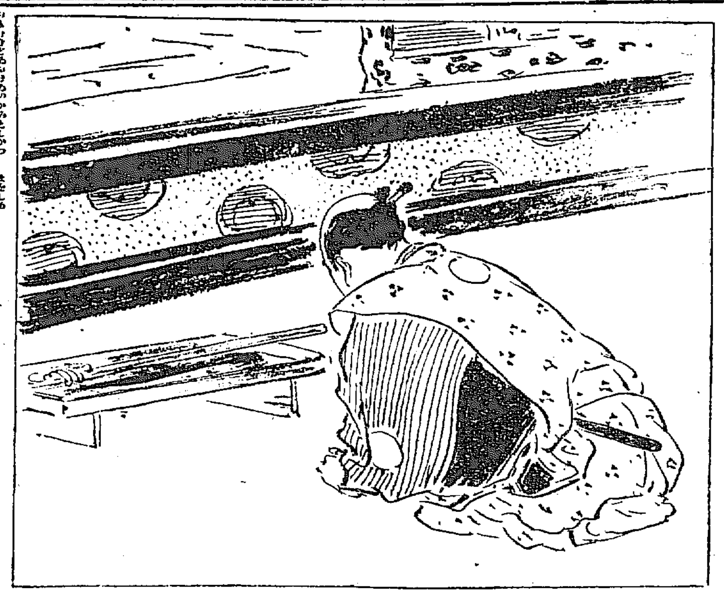
酒精直輸入一手發賣元 仁川宮町(振替口座京城六八番) 鬼頭兼次郎商店

越後大評定

第五十六席 早川貞水口演

家光の政略

福井城下にては、近々御上使が乘込んで、十萬石の御加增があると、至る處評判になりましたから、之を見たる飴屋の桃井三太夫、流言の功成れりと大に喜び、髮結床へ挨拶して『既ら踊り風が起ちましたから、兎に角どうあつても江戸に歸ります、何か御言傳でもありませぬか』床『イヤ飴屋さん、今の所では何もない』客人の內でも、飴屋が桃井と云ふ廻し者であることは氣が注きませぬから、餞別などを與れる人がある、愈々桃井は越前福井から立歸ると、この



趣土井大炊頭殿へ申上げる『それは太儀なり』と仰せられ、茲に御老中の御評議と相成り、將軍家へ言上いたす、直ぐに將軍より內藤修理亮を以て上使となし、福井へ遣はすことに相成りました、此ときの將軍家は二代秀忠公、將軍職を家光に御讓りに相成り大御所と稱し奉り、家光公征夷大將軍に拜せられましたので拜賀の御禮として、第一番に出でられたのが、御高頭で御坐います前田中納言利常侯、御前へ出で謹んで御慶びを申上げると、三代公二重壇の上に儼然として御控へありて御式の濟みました時に、家『利常ッ』と大聲に御呼び遊ばした、利常侯ハッと思召し『ハ、ハーッ』家『今日より此家光を主と仰ぐか、それとも不服なるか不服とあらば早速本國へ引取れ、家光軍勢を率ゐて征伐に向ふべし、併し主と仰いで苦しからずば今日主從堅めの盃取らする』前田侯は太閤殿下恩顧の御家柄、茲で否と云へば必ず百萬石は安穩に濟まぬ、德川の御政略のある所は、御明君であるから疾より御承知、そこで『誠に有り難き御言葉を賜はり、辱く存じ奉る、何條御敵對など仕るべき、今日より主と仰ぎ奉る、願はくば主從堅めの御盃下し置かれ度』有難く頂戴仕るで御坐る』是で御盃を下し置かれ『松平と云ふ姓を遣はす』と仰せられました、前田家が松平加賀守と仰せられたのは、此時からで御坐います、其次に出でたる島津修理太夫家久侯に對しても、御同樣仰せられた時に、島津家は敢て德川三代公の御威光に恐れる次第でないが、聊かの事より不平を起し、國に引取、天下の大軍を引受けることになると今太平の御世に際し、第一朝廷に對し恐れ多い、殊に今日は、秋來つて天下を治めるのであると、早くも御合點あつたに依り、御心中は無念には思召たが『御上意の如く主と仰ぎ奉る』と御答へ申上げる、そこで松平姓を下し置かれ、松平修理太夫となつて、御刀を拜領御退りになる。

入院隨意 京城南大門通三丁目(藤本商店横入る)
胃腸病院 電話一六五九番
院主 佐々木杏造

十一月廿九日九星 舊十月廿三日甲子 本命一白北除友引
▲一白 氣の前る事有日 新規見合 坤の方は吉 ▲二黑 發願する事有日 新事手控へ ▲三碧 延びよき日 轉居旅行入門 名弘家作 求職 婚禮 美術 織物業等 萬吉 ▲四綠 榮顯の日 轉居旅行 商 求職 名弘 出發 請 金談 ▲五黃 萬吉物に勝の日 ▲五武 當のはづれ意味する日 新事手控へ 事は吉 貸借の出入等な ▲六白 幸事添川の日 轉居入門 金談 名弘 棟上 ▲七赤 豐盛の日 轉居 開業等 吉 女子は思外の立身を致す ▲八白 混迷事有日 新事手控へ 常の事は吉 ▲九紫 ふさ水たさゝろ 新取引は用心の事 新事手控へ事は吉 女子は一層用心せらるべし

滋養六 乃木餅一箱 十錢 五錢 關玄櫻 京城壽町 前乃木餅屋 ○電二七五二番 滿鮮到る處の菓子店雜貨店にあり

演藝案內

黃金町四丁目 **黃金館** 電話二六三七
天然色活動寫眞株式會社滿鮮一手代理店 十一月二十七日より全部差替 ○滑稽急に快復 ○實寫 南瑞典の風景 ○滑稽手傳 ○滑稽心に札 ○撮影ヒーオスコップ會社特作品にして本年都に於て大好評を博したる泰西活悲劇『金色蝶』原名金の鳩 全四卷 最長六千呎 ○天活最近撮影にかゝる佐藤紅綠先生大傑作新派大悲劇『夏木立』全卅八場 ○上場す ○吉樂際の招聘に應ず申込は電四七七へ ○お徳用の回數券發売仕候

龍山停車場前 **龍光館** 電話(龍山)四一番

成町 **御成座** 電話二九一 井上雨蕉先生の作 寒紅梅 全二編 妙な男

櫻井町 **大正館** 電話八七三番
十一月廿六日よりの三大寫眞 ○實寫ゴーモン週報 ○喜劇ビル君民狀視察 ○滑稽下稽古 ▲日活會社新東撮影所の新派 ○新派悲劇母の罪 全三卷 ▲佛國パテー會社傑作 ○猛獸及び毒蛇を使ひ、飢喰々たる大山蛇の開所有主は妻が他に親睦せるを嫉み平地に波瀾を起こす ○偶々食屋の居候にて、侍女の客を呼び猛獸の急にして內外の患に起し危險は刻々迫るなど一見戰慄に絕へざる一大冒險劇也 ○喜劇 岡山騷動 全三卷 五十三場 備前岡山藩主池田勝政奸臣に計られ日夜酒色に耽溺して政治を顧みず奸佞の臣の手に汗る握る一大冒險 ▲尾上松之助一座の大車輪 ○書劇岡山騷動 眞の敗陷より奥方の自害侍女の苦心忠臣の亡靈の出頭等に至る波瀾重疊せる一大傑作の騷動の自居にして最近撮影の技術を示す

壽町 **壽館** 電話一〇五〇
十一月廿七日より毎日正六時開演
七福會新派仁輪加 閑園一行
一番目 金廻り酒
二番目 禁つゝれの錦
三番目 意外の女
四番目 ...
座員の大車輪と經營者の大勉強にて十分の皆様方にお酬ひ申す前の洗浴として頂くを趣旨として入場料の如きも十錢均一とし中は...お早い勝ち特別大勉強を致して居ります

龍山 **佐久良座**
女流浪界の大關女雲右衛門一行二十五日初日開演毎日午後六時より開場賑々敷く御來場願上候

本町 **壽座** 電話五五七八
十一月二十四日より 日活會社活動寫眞株式會社京城 ○喜劇 ○新派悲劇 ○實寫 南米(全長二卷危險な冒險) ○アイルランド風俗...
[illegible]

○ミツワ石鹼

擔任技師 工學士 藤野太吉 工學士 越智主一郎

凡そ石鹼は、工業用、洗滌用、洗濯用、浴槽用、化粧用等各用途に從つて其種類を異にすと雖も、而かも皆等しく、遊離の脂肪なく、遊離の亞爾加里なく、些の混合物なき化學上の純石鹼たらざるべからざるは、素より當然のことなりとす。貴重なる皮膚毛髮の洗滌に用ふべき化粧用石鹼は、啻に化學上の純石鹼たるの故のみを以て、其適否を論ずべからず。

○ミツワ石鹼

は化學上の純石鹼たるのみならずなほ左の性狀を具備す。

一、原料を精選し、脂肪に、香料に、苟も刺戟を感ずべき虞あるものを用ひず。
一、溫雅の芳香を有す。
一、細き泡沫を生ず、適度の溶解性を備へて能く水にも溶解し而かも浴室に用ひて半途に溶け崩るゝが如き憂ひなし。

故に一般の家庭に於ける、浴室、化粧用として、衛生に適し、經濟に合する、理想的實用石鹼なり

▲賣捌=全國到る處の小間物店。化粧品店。藥舖。洋酒食料品店▼

本舖 ミツワ石鹼 ミツワ椿油 ミツワ家庭藥 肝油ドロップス 御園化粧品
發賣元 登錄商號 ○丸見屋商店
東京市日本橋區橋町四丁目 藥劑、滋養品、石鹼、香粧品、小間物問屋
電信略號(○ミヤ) 振替口座東京七一〇番 電話浪花三〇九八番 營業部 電話 四四四五四四四番

酒造場讓渡

明治四十一年の創業にして舖の確實なる且銘酒を釀出し現狀の儘讓渡す希望者は來談あれ遠方は電報にて紹介せらるゝを要す至急
京城新川 **岩田酒釀造場** 電話九二四番

奧田貞次郎翁今回叙勲の御沙汰を賜り候に付ては祝意を表し翁の功勞を頌する爲め賀宴を設け度候間御贊成の上御出席相成度候也

一 場所 仁川八阪樓
一 日時 十一月廿九日午後五時
一 會費 金貳圓五拾錢
一 申込所 仁川商業會議所

發起人

新酒賣出し

一升に付 上酒 一金拾八錢 一金參拾錢
但樽代は左の通申受候 一斗入六十錢。二斗入及四斗五升入は一圓
各驛迄の運賃當店にて負擔可仕候
大邱北旭町 **齋藤酒店** 電話三四九番 振替八二六番

米 才仲買店
[illegible]

尼崎汽船仁川出帆

○群山、木浦、釜山、下關、神戶、大阪行
秀吉丸 十一月 日午後四時出帆
君が代丸 十一月廿九日午後四時出帆
神代丸 十二月二日午後四時出帆
大有丸 十二月二日午後四時出帆
第二太湖丸 十二月五日午後五時出帆
○群山、大阪行
士海丸
仁川海岸通二丁目 電話五十九番 高杉回漕部

大阪商船仁川出帆

○中國四國沿岸各港行一割引を以て通路切符發賣仕候
○外航所屬航路(遠洋航路を除く)間連絡の時は五分引を以て連絡切符發賣仕候
○群山、木浦、釜山、關門、神戶、大阪行
宮嶋丸 十二月四日午後五時出帆
漢城丸 十二月七日
溫州丸 十一月三十日
△×○木浦、釜山、長崎行 ▲は歐原圓の浦に寄港
安東丸 十二月九日午後二時出帆
▲天智丸 十二月四日
××○鎭南浦、大連行
安東丸 十二月五日午後二時出帆
天智丸 十一月廿九日
○○木浦、神戶、大阪行
湖州丸 十一月廿八日午後五時
△△○群山、釜山、滿濱行
千珠丸 十一月廿七日午後四時出帆
チヨイサン丸 十二月八日
△△○大連直行
千珠丸 十二月十五日正午出帆
チヨイサン丸 十二月二日
○清津、浦潮行(元山出帆) ▲は城津西湖津に寄港浦汐不寄港
久宮丸 十一月廿八日
地神宮丸 十二月七日午後三時出帆
▲大智丸 十二月十四日
○上海、基隆、打狗行(大連出帆)
基隆丸 十二月四日午前十時
新高丸 十二月十七日
御注意 ○朝鮮鐵道及南滿洲鐵道會社との聯絡運輸取扱仕候 ○本船出帆前約一時間御無賃送迎可取計候 ×印は一等客御斷り△印は雜客御斷り
仁川切符發賣所 大阪商船會社仁川支店 電話二〇番 二〇五〇番
京城切符發賣所 內國通運會社支店 電話七八〇番

阿波共同汽船仁川出帆

勅東亞會社命令航路 芝罘、大連行
第十共同丸 十一月廿六日後二時入 十一月廿八日前九時出
朝鮮殷道主要港にて貨客運輸送輸取扱仕候大連にて青島行定期船に接續荷客貨物共青島迄通し輸送取扱可仕候
第一城鶴丸 (元山出帆) 城津、清津、浦潮行(元山出帆) 十一月 月 日 日 後九時出港
第三共同丸 西湖津沿岸各港を經て雄基行 十二月一 月 日 日 前八時出帆
阿波國共同汽船株式會社 仁川代理店 本町一丁目(電話一〇八番) 山下回漕部 元山代理店 春日町(電話二四四七番) 田口回漕部 京城取次店 南大門(電話二六八、二〇一七) 河村運送店

汽船釜山出帆廣告

○門司、神戶、大阪行 小倉丸 十二月十四日後五時出帆
○元山城津浦潮行 小倉丸 十二月二日後十時出帆
○門司、神戶、大阪行 立神丸 十一月卅日後五時出帆
○元山、清津、浦潮行 立神丸 十二月九日後十時出帆
○元山、西湖津、新浦、城津、清津行 第三幸平丸 十二月一日後九時出帆
○門司、宇品、神戶、大阪行 第三幸平丸 十一月 日後六時出帆
○佐須奈、嚴原、壹岐、博多行 天真丸 毎月二日九日十六日廿三日 午後十時出帆
釜山本町 船舶取扱店 大池回漕部

日本郵船仁川出帆

○大連、秦皇島行 高砂丸 十二月十八日 正午出帆
三河丸 十二月十一日午前六時出帆
○大連、太沽行 相模丸 十一月三十日 正午出帆
仁川海岸町一丁目 電話十一番 堀回漕部

朝鮮郵船出帆

本社 電話長一九五二番二三三番 鐵道及び外船と荷客連帶輸送の便あり、詳細は支店、出張所、代理店、荷客取扱店に御照會願上候 京城府大門際前 京城荷客取扱店 松原運送店(電話一一七〇番)

全羅丸 十一月四日 ⎫
京畿丸 十二月四日 ⎬ 釜山發
黃海丸 十二月八日 ⎪
咸鏡丸 十一月廿八日 ⎭ 仁川より釜山各港寄港雄基間ごと
元山より各港經由雄基行
鏡城丸 十一月廿九日
昌平丸 十二月三日 元山發
鏡城丸 十一月
平壤丸 十一月廿七日 元山發
忠清丸 十二月五日 元山發 城津、清津、浦鹽行復航釜山經由門司
永興丸 毎月廿八回 元山發 北久味、石見浦行 又は長崎延長
嘉島丸 十一月廿七日 釜山發 甘浦、九龍浦、浦項各港寄港鬱陵島行
江陵丸 襄陽丸 毎日(釜山浦項)發 長生浦、方魚津寄港
三浦丸 十一月廿九日 釜山發 長承浦、麗水、巨文島、濟州島各港行
海州丸 巨濟丸 統營丸 慶寶丸 毎日 釜山發 各港經由麗水行(三日目一回木浦行)
順天丸 三日目每 木浦發 各港經由麗水行麗水より釜山行に連絡
慶興丸 十一月廿八日 木浦發 一、各港經由濟州島行(西廻)
公州丸 十二月二日 木浦發 一、南多島海列島行(月三回)
公州丸 十一月廿六日 木浦發 一、各港經由濟州島行(東廻)
宗信丸 十一月 日仁川發 海州仙各港經由、鎭南浦行
江原丸 十一月 日仁川發 芝罘、大連、青島行
麗水丸 十一月廿七日 晉州丸 十二月一日 仁川發 各港經由木浦行
全州丸 南陽丸 毎日午前 仁川發 江華島、喬桐島、海州行
平安丸 十二月十九日 群山發 十二月六日 若松發 往航 大黑山、木浦、門司、若松行 復航門司、木浦、群山行

汽 [illegible] 京 南行 北行 京 南行 北行 京 南行 北行

(明治三十九年九月…第三種郵便物認可)　年中無休刊(大祭日の翌日休刊)

第三版

(東京)公債直取引

二十五日の[illegible]前日の[illegible]今朝は[illegible]大株[illegible]の四圓以上米株三圓二十錢東株三圓四十錢方を跳上げ其他郵船株の小安を除く外何れも上向歩調なり

大阪三品

大阪期米特電(廿七日)
後場當限寄付十四圓[illegible]△中限寄付十四圓十八錢△先限寄付十四圓五十七錢

下關期米

二十七日後場　大阪前止六十一錢後寄五十七錢の入電當場中九圓九十錢より十錢先九圓七十九錢より大阪西節六十三錢と高移りにて八十一錢と跳ねたるも賣物多く忽ち七十五錢と押したるが[illegible]八十錢と引返し七十九錢と保合の儘

△後場保合　大阪の下寄を受けて九圓七十九錢と二錢安に寄付跡高移りに八十一錢と跳ねたるも[illegible]其他より買向ひたるも忽ち七十五錢と押し[illegible]七十九錢と保合の儘[illegible]市況は依然保合の[illegible]

△本日の現物界　[illegible]

廿七日の一月限　九圓七十九錢

十一月限　十二月限　一月限　賣買取組高　七千五百石　二萬百五十石　三萬四千二百五十石

京城日報

二十八日朝刊
(第二千九百五十六號)

定價　本紙一部金三錢五厘　一ケ月金六拾錢　郵税共三ケ月壹圓九拾錢　六ケ月三圓七拾錢　▲郵券代用二割増
廣告料　▲五號活字一行金一圓　▲七號活字一行金七拾錢　▲場所指定一行金貳拾錢増　▲二號活字の一行は五號活字同樣　▲三號活字の一行は二號活字同樣
發行兼編輯人　奥田直毅　印刷人　[illegible]政太郎
發行所　合資會社　京城日報社　京城太平通一丁目
電話　編輯　三四五番　營業　二二四番　振替貯金口座京城三〇〇番

瑞光餘洩　小松緑

天子親告

大禮人等共に鳴を鎭めたる四邊の寂寥を破りて、徐ろに聞ゆる神樂笛、和琴、篳篥の音ゆたかに、神樂歌と相和して微くが如くして絶え、絶ゆるに似て又續く神韻妙響、目に見るべきものなきも、鳳翔鸞舞の想はれて神々しき限りなし、賢所神前に禮拜し奉る、やがて黒冠緋袍の掌典、神饌幣物を供し參らす、供御終れば掌典長祝詞を奏し座に著きて、陛下の出御を待ち奉る。此の時春興殿左手の廻廊より戸田式部長官波多野宮內大臣前行にて今上陛下出御し給ふ、皇太子、伏見、閑院、兩宮其の他の各皇族殿下並に大隈首相代岡陸相以下大臣之に扈從す、孰れも黒の衣冠束帶なるも、獨り陛下は立纓にして純白の帛袍を著け給ふ、內外群臣起立して最敬禮を致す、此の時午前十時四十二分、陛下の賢所內陣御座に入り給ひてよりは神秘與深くして何事のおはせしやを知るに由なく、唯々金鈴の錚々として鳴ること九十度の多きを數ふるのみ、其の間、陛下は神靈に對し御告文を奏し給へりと云ふ、やがて陛下入御の時恰も日光殿上を照らして龍顏に輝く、其の刹那の尊嚴眞に特絶、仰ぎ拜するも恐ろしく、皆首を俯れて惶懼せざるものなし。之より先き　天皇陛下の出御に次ぎて、朝香妃允子內親王殿下は　皇后陛下御名代として數多女官を召具して內陣の御座に著き給ふ、皇太子殿下は無[illegible]冠に[illegible]袍を著け、濱尾東宮大夫の御先導にて　天皇陛下に供奉し給ふ、其の勇々しき御姿を拜し奉るにつけ、御代の榮の思はれていと目出度し。御儀式の全く訖れるは午前十一時三十分なり。

賢所大前の儀たるや崇嚴莊嚴思議すべからざるものあり　今上陛下至尊の聖體を以てして猶ほ祖宗の幽助を念ひ神前に禮拜し給ふ、其の敬神孝養の限りなき何に譬へん樣もあるべからず、身を以て範を七千萬の群黎に示し、兼て三千年來聖々相承けて萬世に亘りて渝ることなき寶祚の天壤無窮を昭にし給ふ、帝國の萬邦に冠絶するも宜に宜べなりと謂ふべし、微臣深く感ずる所あり恭く一絶を賦して威德を頌し奉る。

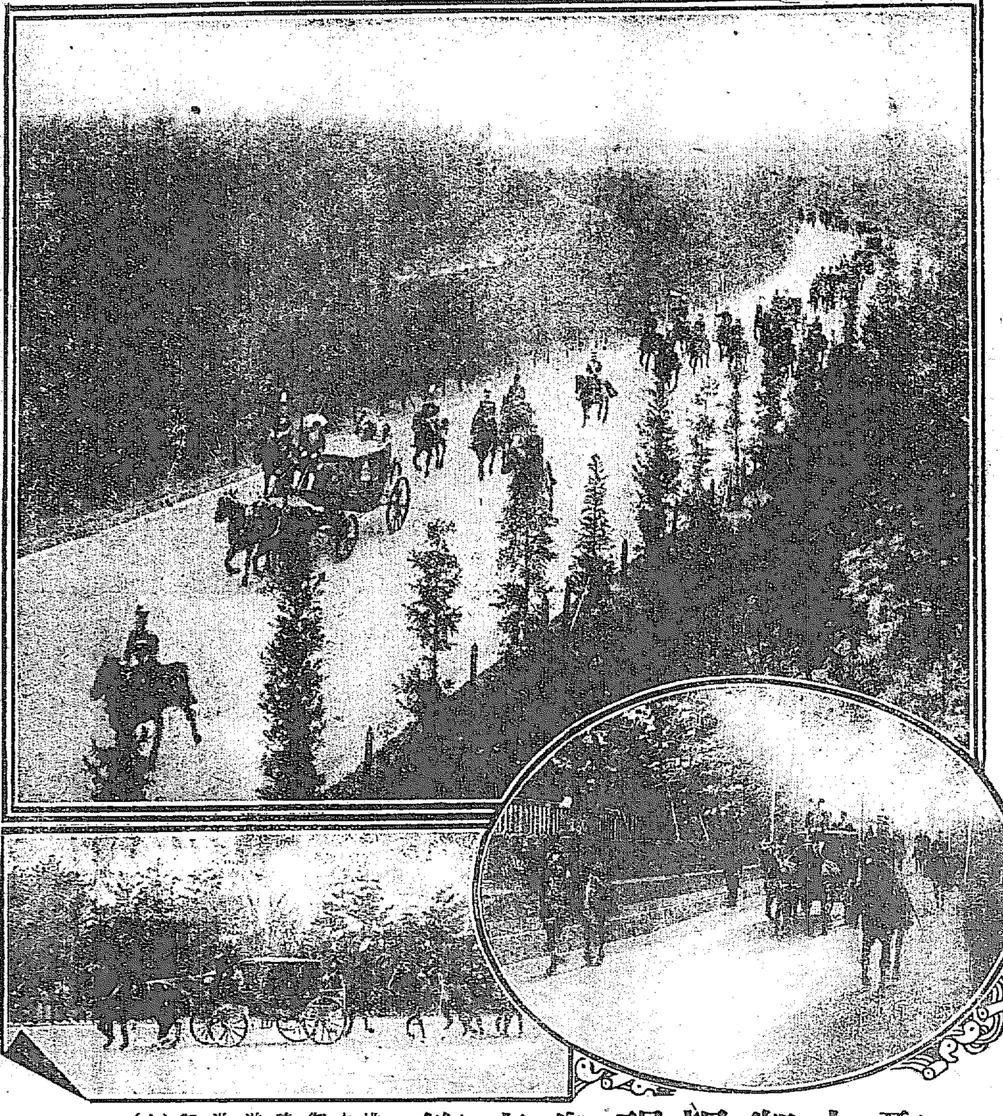
○登極臻今百廿二○連綿一系三千秋○金甌不缺豈無故○神種天降六八洲○

朝鮮銀行の使命(五)

鮮滿通貨の統一は鮮銀之に當るべし

滿蒙開發の金融機關として、新設銀行も將又正金銀行も、倶に中央銀行たるに適せざるの理由は上述せる所の如し。然らば殘る問題は朝鮮銀行をもて之に當らしむるの適否のみ。抑も朝鮮銀行は、朝鮮に於ける中央銀行として特設せられたるものなれども、其の營業の範圍極めて廣汎にして、一面殖産銀行たると同時に、一面亦た殖民銀行として、國家的任務を盡す上に於て極めて適當なる組織を有せり。但だ其の營業の地域が主として朝鮮內に在ることは、創立當時に於ける事情の然らざるを得ざりしが爲めにして、其の必らずしも營業地域を朝鮮內に限定するの主意にあらざりしは、創立の當時既に安東縣に支店を有せしの一事に徴するも明かなり。思ふに朝鮮銀行が朝鮮と隣接せる我が勢力範圍地に發展せんとするは、自から創立當初の目的內に包含せられたる主要事項たらずんばあらず。而して同行は右の方針に基き、大正二年七月以降新たに滿洲に三支店及び二派出所を增設し以て其目的の貫徹に努力しつゝあり。其れ本國と事情を異にするもの多き新領土に對して、特種の銀行を設立せんとするは、歐洲列強が殖民地經營上皆其の揆を一にする所にして、且つ事情の許す限り其の營業地域を廣大にし、特に其隣接せる勢力範圍地域に對しては、努めて同一銀行をして經營の任に當らしめつゝあることも亦た殆んど常例とする所なり。斯くの如きは、本來勢力範圍地域に對する行政的見地より、且つは隣接地相互の經濟的便益より打算せられたる政策に非ずして何ぞ。今滿蒙の地勢を見るに、關東州の如きは我領土權の行はるゝ地域を有すると雖、其の面積僅かに二百十八方里に過ぎず、又關東州以外に於て、我が行政權のみの行はるゝ鐵道附屬地を有すると雖、其の面積漸く十方里餘に過ぎず、其他の大部分は單に我が勢力範圍地たるに止まり、未だ獨立の經濟地域の存するにあらず。從つて其の隣接地たる朝鮮に於ける中央銀行が、其の間に於て經營の任に當らむとするに、吾人は之を不可なりとするの理由を知らざる也。

試に思へ、旅客一度海峽を渡りて釜山に上陸せむか、此處に母國に異りたる別箇の銀行券の流通するを見む。而して又僅かに鴨綠江を渡らば、其處に更に別種の銀行券の存ずるを見む。此如きは啻に便不便の問題にあらずして、又帝國の大陸政策と相容れざるものなり。其れ滿鮮を打て一丸と爲し、之を同一經濟地域たらしむるは、識者の均しく唱道する所、之が手段として、先づ滿鮮通貨の統一を必要とするは論を俟たざる也。吾人は此の見地より朝鮮銀行を以て滿鮮共通の中央銀行たらしむるを、當然必要條件なりと信ずるもの也。具眼の識者亦吾人と意見を同じうする者あらむ。鮮銀當局亦其の抱負あるべし。吾人は尙少しく經濟上の見地より滿鮮の關係を論じ且つ鮮銀に向て希望を述べんと欲す、文の冗長を咎むるなく吾人の言はむと欲する所を言はしめば幸何ぞ如かむや。



聖上御親謁御鹵簿
(上)桃山御陵道進御
(左)泉山月輪陵御
(右)神武天皇御陵

京城雜筆　山縣生

▲前回の雜筆に人口の增加と戰爭との關係とについて、愚見を述べたところ、今日到著の或米國の雜誌に此問題についての頗る興味ある一説が出て居るのを見た、それはカリフォルニア大學の生物學教授リッテル氏の意見である

▲教授は近く『戰爭、科學及び文明』と題する一書を著はし、其中に米國は須らく布哇を日本に讓與すべしと破天荒なる議を建て居る、教授は生物學の見地より戰爭の避くべからざるを論じ、一の國民が其食物を得る土地足らざるの時、領土を擴張する爲め他國に向ひて戰爭を起すは不可なしといひ、然し此問題は戰爭によりて滿足に解決されず、却て其目的を妨ぐるに歸著するが故に、戰爭は避けざるべからずと述べて居る

▲今次の大戰爭は、リッテル教授の意見に據れば、領土の分配公平ならざるに原因して居る、或國民は其必要とする以上の多くの領土を有し、或國民は領土の不足に苦んで居る、これが爲めに戰爭が起るのである、故に戰爭を防止するの途は有り餘る領土を平和にこれを缺乏せる國民に讓與し、之をして開拓せしめ、以て世界の幸福に貢献せしむるにある

▲教授は更に論じて曰く、最も大切なるは世界の人類が國境を見越して相協力して人類一般の幸福を進むるに努むべき事である、今日の如く歐洲列國が阿非利加其他に於て必要以上の領土を掌握し、他國をして指を染めしめざるは不公平にして且つ科學の原理に背き、頗る危險の狀態を齎らす所以である、故に有る者は無き者に讓らざるべからず、米國は既に充分の領土を有するが故に、領土の不足に苦みつゝある日本に布哇を讓與せざるべからずと述べて居る

▲若し教授の理想が實行さるゝに於ては戰爭の起る機會は頗る稀少となるであらう、實際英國の如きは餘りに多くの領土を有して居るやうである、濠洲の如き人口稀薄にして、其爲めに其無限の富源は開發頗る遲々である、然も濠洲人は『白人の濠洲』を主張して、我日本よりも支那よりも移住民を送る事を絶對に拒絶して居る、不義と言はざるべからず

▲唯此狀態がいつ迄續くやは問題である、飽く事を知らざる歐洲列國は其私慾の爲めに今次の戰爭によりて天罰を受けて居る、今や彼等列國民が覺醒し、不義は永續せず、無限の慾は却て其身を亡ぼす所以なるを悟り、リッテル教授の理想の幾分にても行ふやうになる事こそ願はしけれ

日報俳壇　雉子郎選

蝗
蝗飛ぶ畦に朝草刈り溜めぬ　蘇岳
蝗穗草に飛べば傾く水の渦　豆村

河鹿
峽道や河鹿鳴止む不時の雨　小澪
河鹿鳴く庇伸びたる前は谷　同

朝鮮總督府
一新義州稅關構內門木柵新設其他工事
右競爭入札ニ附ス詳細ハ十一月二十七日以後ノ朝鮮總督府官報又ハ本府若ハ土木局新義州工營所ノ揭示ヲ見ヨ

購買　龍山陸軍倉庫
玄米　精米　藁
詳細ハ十一月廿七日以降ノ朝鮮官報ニアリ

商業登記公告
行政區劃ノ變更並ニ地番號ノ設定ニ依リ株式會社韓一銀行ハ支店所在地ヲ忠淸南道恩津郡金浦面江景新町ヲ忠淸南道論山郡江景面西町五十壹番地ノ壹ト變更シタリ
右大正四年拾壹月貳拾四日登記
朝鮮貿易株式會社取締役李容璣ハ大正四年拾壹月貳拾日其ノ住所ヲ京城府堅志洞六拾貳番地ニ移轉シタリ
京城織紐株式會社取締役尹致昭、金溶泰、李商榮及監査役朴晩緖、張[illegible]ハ各任期滿了ノ處尹致昭、金溶泰、李商榮、朴晩緖、張[illegible]ハ同日重任シ且京城府淸進洞百貳拾參番地朴勝彬監査役ニ當選就任シタリ
右大正四年拾壹月貳拾五日登記
京城地方法院

本日出來
婦女界　十二月號　年末經濟號
年末に於ける我家の回顧
▲夫は退職、妻は病床で年越……
▲貧しい年末に嬉しい人の情……
▲旅の空で病苦と戰つた年末……
▲年末に出産して火災に遭ふ……
▲質入して過した小官吏の暮……
▲不安の絶え間で喜んだ年の暮……
▲思ひがけぬ賞與金で助かる……
年末の買物
▲經濟的な買物の仕方……
▲確かな品と重寶な贈物……
▲贈答品の買方と失敗……
▲本場物を買ふ利益……
我家の經濟
▲月收六十五圓で一家六人……
▲面目を一新した私の家計……
▲月收廿七圓の合計……
◎愛情の經濟……鳩山春子
▲愛情の浪費者に對する大教訓、時節柄御一讀あれ
◎無駄をせぬ家政整理……鳩田夫人
◎安價生活と食物經濟……澤村博士
◎食物一つで病氣が癒る……岡部剛雄
◎生活難を知らぬ生活法……一記者
家庭小説　憂き身(天下一品との大評判)　柳川春葉
▲此の小説を讀むと社會の風相がよく判ります、實に金が敵の世の中で此の金一つにさまざまの苦勞をなす
一冊十五錢　郵税一錢半
東京牛込區加賀町　婦女界社

醇良清酒
白鶴
仁川本町三丁目
增本酒店
電話一〇九　振替京城六一九

料理の友
經濟料理滿載十二月號
◎食費半減策と健康增進法(羽太ドクトル)
◎我家の迎年と迎年の準備…(某夫人)
▲新時代に適したお歳暮の贈答品
▲家庭團欒晩餐の珍趣向
▲美味で經濟な豚肉料理
▲温かいさつま汁(三種)
▲おいしい鯖の御馳走(數種)
▲こんにやく料理
▲安價生活十錢以下で出來る三食の惣菜
▲美味しい野菜の交せ御飯(六種)
▲家庭忘年會獻立
▲温かい種そばの拵へ方(七種)
▲素人向きの手輕な西洋料理…(數種)
◎クリスマスの御馳走
◎年越なせちの獻立
◎家庭和洋菓子
◎陶器さ漆器の研究
◎漬物
便法(ハガキで注文次第見本送ります…)
一冊廿錢(毎月一回)
東京市芝區白金今里町
大日本料理研究會

糖尿病根治藥　アラリヤタキスース
天信堂

輪界の覇王

精良無比の自轉車を求めんと欲せば彼れ是れと其撰擇に迷ふ事なく直ちに左の三車に一決せられよ
◎名聲嘖々として構造の堅牢車體の輕快他に比類なき自轉車を求めんとせらるゝ方は其眞價値を表明しある──
輪界覇王　ハンバー號自轉車
◎實用的模範車として使用最も峻烈を極めたる郵便局電信配達用として納品の光榮を浴しつゝある──
實用的模範車　リアル號自轉車
◎輕快堅牢精巧確實にして實用家より多大の信用と名聲を得常に異彩を放ちつゝあるは──
實用大王　ノートン號自轉車
神戸
合資會社　橋本商會出張所
京城永樂町二丁目(電話一五七九番)

◎聖上名古屋著御

天皇陛下には前電の如く二十七日午前九時四十分京都御發輦の沿道各驛の盛んなる奉送迎を受けさせられ午後二時四十分名古屋停車場御著奉迎の徳川侯大庭第三師團長松井知事以下文武官華族等數百名に御會釋を賜ひ一旦便殿に入らせられ御少憩中賢所御羽車に移御せし趣聞こし召され添田總裁の御前行にて御車寄より御馬車に召し鷹司侍從長御陪乘特別式鹵簿にて許多の供奉員を隨へさせられ御道筋兩側の軍隊庶民最敬禮中に同四時離宮に御安著遊ばさる　賢所は直ちに岩倉掌典長以下各掌典に依り離宮内假殿所に奉安せられたり(名古屋特電)

◎同志會第四回大會

加藤總理の演説

同志會にては二十七日午後一時より本部に於て第四回大會開會加藤總理以下武富河野箕浦の三大臣及び各總務以下兩院議員前代議士各支部代議員等三百餘名出席富田幹事長大會開會の挨拶を述べ島田三郎氏會長席に著き開會を宣し綾部幹事會務を報告したる後宣言政策兩案を附議し兩案共滿場一致を以て可決し更に會則改正の件を附議し是又異議なく可決次いで總務の選擧を總理の指命に一任し加藤總理は若槻、片岡、安達、肥塚、阪口(仁一郎)の四氏を指命し終つて加藤總理は滿場急霰の拍手を浴び登壇大要左の演説をなし島田會長の發聲にて天皇陛下並に同志會の萬歳を三唱し午後三時散會せり(東京特電)

(前略)吾黨は創立日尚淺しと雖も吾黨の主義主張は今や内閣に依りて其の大部分は既に實現せられたり今夏閣員の更迭ありしも大隈首相の言明に依れば主義政策に於ては依然として毫も變る事なしとのことなるを以て吾黨は依然現内閣を援助することゝせり此際憂ふべきは首相の病氣なるも是亦程なく全快せらるゝ事と信ず(中略)先づ外交に於て條約のみ成立するも其の効果を收むるに非ずんば其の益なし故に然るべき機會に於て吾黨は充分政府を援助し條約の効果を全うせんことを期す次は海軍問題なるが國費多端の今日人民の負擔輕からざるも國防上必要なる提案なるを以て政府提出案に對し審議の上協贊を與へらるゝに吝ならざるべしと信ず同志會今日の順境に入りて百五十名の代議士を有するを以て吾黨を除外しては何事も爲し能はざるべし然るに破滅は多く順境の時に生ず依て諸君は各自進退に充分の注意あることを要す多年順境なりし政友會は兩回の選擧に於て著しく其勢力を失墜したるを以て今や不平滿々乘ずべき機會だにあらば必ず乘ぜんとしつゝあれば諸君の大なる注意を望む(下略)

◎同志會宣言　政策

同志會にては別電の如く二十七日大會を開き宣言書及び政策案を發表したるが宣言政策の要領左の如し(東京特電)

宣言

(前略)我が黨は我が黨の綱領に基き第三十一回帝國議會の始めに於て數項の政策を決議し是を天下に聲明したり爾來其の政策多くは既に實行を見且つ最近時局の發展に伴ひ内外の狀况又復前の如くならず仍て時勢の要求に應ずる爲め玆に新に政策十項を定め以て第三十七回帝國議會に臨まんとす若し夫れ今期議會に於ける豫算案其の他の諸問題に至ては是を議員總會の決議に一任す

政策

一、歐洲の大亂に關しては同盟及び協商の精神を尊重し友邦との關係を倍々鞏固ならしむると同時に時局の推移に應じて帝國の地歩を進め國威を宣揚することに力む可し一、支那に對しては曩に締結せられたる條約の功果を實現するに力め益々兩國の親善を圖ると同時に東洋永遠の平和を確保すべき帝國の使命を全うすべし一、海軍々備の補充は國防上尤も緊切の事と爲す宜しく國力と相俟つて適切なる實行計畫を定め之が完成を期す可し一、債務國たる地位に顧み倍々正貨の充實に力むると同時に外債の減少を圖り其の借替を容易ならしむるの方法を講ず可し一、時局の影響は世界に於ける貨物の生産分配の狀况に非常の變化を生せしめたり宜しく此の機會を利用し内産業の發達を進め以て國力の充實を圖り外貿易を伸張し以て商權の確立に勉む可し一、特種銀行及び其の他の經濟機關の機能を發揮せしめ資金の供給を圓滿ならしむるの策を講ずると同時に日支經濟關係を密接ならしむるに必要なる金融機關の整備を圖る可し一、農村の經濟施設を整備し以て其の改善發達を圖るべし一、社會上經濟上の現象に顧み社會政策の實行に力め以て一般國民生活狀態の改善を圖る可し一、移民は經濟策上並に民族發展上當今の急務に屬す宜しく外交の後援に依り之が發達に勉む可し一、司法及び檢察制度を整備し刑政の改善を圖る可し

東京發別電

▲巴爾幹[illegible]　獨逸人は極力印度の叛亂煽動に盡力中

▲[illegible]　朝鮮米の格付[illegible]擱を條件とする由

▲各黨大會　各政黨は二十七日大會を開き[illegible]

[illegible]は到著後巨匪冤子闖王が部下三百餘名を率ゐ居りて勢猖獗を極め[illegible]連及び百七十團機關銃隊一排に小山砲二門機關銃二挺を攜帶派遣せり(天津)

[illegible]容易ならざるを以て[illegible]中なるが内務省も亦關係官廳として種々調査を爲し居れり同法に據れば[illegible]方針に依り公債募集を許可せざる方針[illegible]以て必ずしも之が改良を期待せざるに非ずと内務當局者は語れり(東京)

◎政友會宣言發表

政友會にては二十七日午前十一時本部に於て協議員會を開き午後開會の大會に宣言すべき左の宣言書を議題とし滿場一致是を可決散會せり(東京特電)

宣言

現内閣の施設する所皆誠意を缺き内治外交其宜しきを失することは我黨が曩に三十六議會の開會に際し宣明せし所なり爾來其の爲す所一も見るべきものなく外は善隣の交誼を徹底する能はず列國に對しても亦已に機宜を誤るあり今後果して何れの道に出でんとするやを知らず内は秕政百出權指するに遑あらず(中略)然るに内閣の爲す所毫も經綸あるなく纔かに一時を糊塗するに過ぎず斯の如くして止まずんば國家の前途寔に寒心に堪へざるなり我黨は精勵務進今日の急務に處して遺算なからんことを期し國防問題の如き減債基金問題の如きは從來の主張に鑑み更に審議を盡し以て適當の措置を執るべし

◎豫算内示會問答

重なる質問は八八艦隊の編成次に鐵材缺乏と製艦との關係

既報の如く衆議院豫算内示會は二十六日午後四時より首相官邸に於て開會されたるが當日の質問應答の大要左に記すべし

最初武富藏相の説明終るや關直彦氏(國民黨)は先づ行政整理額に就き質し藏相調査の上確答すべしと答へ三土忠造氏(政友會)は海軍補充問題に就き若し八八艦隊を完成せんとせば是れに附屬すべき輕巡洋艦驅逐艦潜水艇及び特務艦幾何を要するやと訊したるに加藤海相より總計六十餘隻に達すべしと答へ次いで守屋此助氏(同志會)は鐵材缺乏と製艦との關係に就き質し加藤海相は製艦豫計算の根本は倫敦に於ける目下の相場に運賃を加へたるものを標準とし算出せり製鐵所問題に就ては河野農相より製鐵所の擴張は既定の第二期に次ぐに第三期擴張を以てし鐵材の需要に應ぜん考へなりと答へ鈴木梅四郎氏(國民黨)は滿鐵會社に製鐵所經營の計畫ありと聞く眞否如何と問ひしに江木翰長は鐵道總裁缺席に付き答辯し能はざるも同院の豫算には其の事なしと答へたる傍より石井外相は之れは自己の所管外なるも聞く所に依れば滿鐵には此の計畫あるも未だ決定し居らずと附言し尚ほ鈴木氏より英支同盟の眞實に就き質したるに外相は新聞に此の事傳へられたるも本省には未だ何等の報告なしと答へ是れにて質問を終了し午後七時散會せり(東京特電)

◎三國加擔は疑問

有力なる某參政官は下の如く語れり英露佛の支那誘致は其弱點を自白せるものにて從來多數の支那人が懷ける最後の勝利は獨逸に在りとの觀察に裏書せるものなり蓋し英露佛側は東洋に於ける獨逸の勢力を驅逐し歐洲の失敗を補足する考へならんも支那政府は脅迫されざる限りは英露に加擔して獨逸を敵とするが如き冒險を爲さゞる可し尚ほ目下政府部内にも此の説を爲すもの多し(東京特電)

◎段祺瑞殺害風説

段祺瑞は二三日前自宅に於て殺害せられたりとの説あり又一説によれば彼は竊かに天津に赴けりと(東京特電)

◎君主立憲贊成發表

國民代表大會事務局にて

北京國民代表大會事務局にては二十六日附を以て十月二十九日より十一月二十日までの各地國體投票數は一萬八千八百五十九票にして皆君主立憲制に贊成せる旨を公式に發表したりと(東京特電)

◎肅親王家財産

門司歸客談

支那の事情に通ぜる川島浪速氏二十七日朝大連より臺南丸にて門司著東上す其の談に曰く肅親王家一千五百萬圓の財産整理に付きては袁總統干涉妨害を加ふるも其の筋の盡力に依り遠からず圓滿なる解決を見るべし尚帝政問題に對し肅親王の意見は斯かる結果は早晩來るものと想像されたるも之れに付きては多少の擾亂伴ふべしと(門司特電)

◎鮮銀進展

支店網を露領に擴張せむ

朝鮮銀行が朝鮮に基礎を置きて更に滿洲に進展の計畫を定めたるは別に今日に始まりたるものに非ずして既に大正二年以來著々支店網を擴張して今や安東縣大連奉天長春の四出張所及び四平街開原の二派出所を擁して金本位の銀行券として或は海外銀行として鮮銀の機能は尚ほ大に擴張し得べきに拘らず現在の狀態にては未だ將來帝國經濟の北方發展に對し不滿足なるを以て豫ての調査に基き愈近き將來には浦鹽斯德並に哈爾賓等從來露亞銀行の活動範圍にまで出店して滿洲の市場は勿論露領との金融の便を圖るべき計畫を立て早晩實行する筈なり而して其の第一著手としては大連を以て滿洲總支店とし要部の交迭を行ひ適任を適所に配する事となれるは既報の如し今後遠からざる間に確報の運びに至るべし

◎三皇子參上

東宮並に兩皇子殿下には二十七日青山御所に參上皇后陛下に御對顏あらせられたり尚三殿下は二十八日午後還幸の天皇陛下を宮城御車寄に御奉迎相成る由承る(東京特電)

◎記念章御下賜

光榮者一萬人

勅令第五十四號に依る大禮記念章御下賜の件に就きては目下總督府に於て種々調査中なれば遲くとも本月末までには完了の筈なり、記念章御下賜の光榮に浴す可き人員は未だ確實ならざるも曩に饗饌を賜はりたる鮮内の人員約八千名の多數に上れるより察するも全部にては或は一萬人に近かる可く、此記念章は本人に限り終身佩用し子孫をして之れを保存せしめ若し授與前死亡したる者は其家督相續人又は戶主に交附保存せしむ可し、而して御下賜までの手續は總督府の調査を了へ次第賞勳局に報告し一般記念章授與の手續を經て各人に交付する順序なれば愈拜受の運びに至る迄には尚ほ多少の日子を要す可し

◎鐵道豫算内容

既報の如く朝鮮總督府は來年度即ち大正五年度豫算の内容を二十六日發表せるが右の内鐵道豫算内容に就き當局者の説明を聞くに五年度は殆んど本年度と大差なく唯臨時部歲出に屬する建設及び改良費が中央政府の豫算不成立の結果前年度實行豫算を踏襲したるを以て之が所要額八十一萬圓を要求したるのみ也經常部歲出は鐵道作業費の七百六十九萬四百五十圓を本年度實行豫算七百六十六萬二千三百十一圓に對比すれば三萬八千百四十四圓を增し同歲入合計一千十四萬九千三十九圓(内鐵道運輸收入九、八六二、〇二一圓雜收入二八七、〇一八圓)を本年度鐵道歲入一千十萬七千五十九圓に對比すれば大差なく差引約二百五十萬圓の純益金を生ずる譯なり臨時部歲出の輕鐵補助費八萬一千三十二圓は本年度七萬三千二百二十四圓に對比すれば七千七百八圓を增加し鐵道建設及び改良費は八百三十九萬圓にして本年度の七百五十八萬圓に對比し之又八十一萬圓の增加なり而して輕鐵補助費の增加は民間に於ける企業者の獎勵に基くものにして建設改良費の增加は前述の如く五箇年計畫に基く八百五十萬圓の總額事業費本年度に於て政府より削減されたる所要額を要求したる譯なりと

◎農技官會同

二十九日より總督府第二會議室に於て開催す可き鮮内各道農業技術官會同の日程左の如し

日程	午前	午後
十一月廿九日	地方狀况報告	地方狀况報告
同　三十日	諮問事項答申	諮問事項答申
十二月一日	訓示指示	協議事項協定
同　二日	協議事項協定	協議事項協定
同　三日	勸業模範場視察	午前の續
同　四日	他部課事務打合	本部事務打合

因に開會時間は毎日午前九時三十分にして閉會時間は午後四時なり

◎京畿道路整理

京畿道管内に於ける土木工事中最も緊急を要するものに對しては既に去る九月迄に京城附近の道路改修を行ひ以て共進會觀覽者の便に供したるが此の外京城附近に於ける本年度内の改修工事は義州街道(高陽郡以北)元山街道(楊州郡以北)釜山街道木浦街道(水原以南)春川街道(議政府以北)等の一等道路と洪川街道(楊平先)安城街道金浦街道水原街道の四線にして一等道路改修工事は國庫補助に依り洪川以下の四道路即ち三等道路は道費六萬圓の豫算なり而して此の他明大正五年度豫算に計上せる道路工事は木浦、春川、義州等の各一等道路の繼續工事を初め此の他三等道路二十餘線ありと雖も未だ豫算の確定を見ざれば孰れの線を改修するやは未定なりと

◎五年度電信工事

遞信局工務課に於ける明年度新規事業は電信新設工事十五箇線にして線の延長約四百里に亙るものなるが同工事費は前年度十五萬圓なりしも五年度には五萬圓を減額され十萬圓となれり

◎府令二件發布

朝鮮不動産登記令施行地域の件並に地方法院出張所の名稱位置及び事務取扱區域中改正の件は廿七日附號外を以て發布されたり前者は十二月一日より施行せられ後者は發布の日より施行さる

◎愛婦役員增囑

愛國婦人會朝鮮本部にては今後の會務取扱上に於ける便宜を計らむが爲め曩に第三回總會準備委員として盡力せる京城在住各夫人に對し此程山縣本部長より更に協贊員を囑託したり

◎市區改正と水道工事

京城水道部にては明年度豫算に京城市區改正に伴ふ工事費二萬四千六百圓を計上せしが其工事の内容を聞くに敦化門より鐘路通迄(從來六吋管布設せるが之を一方に寄せ更に四吋を四百四十四間新設)南大門通黃金町十字路より小磨橋迄(三吋間布設)南大門通光化門前より黃金町角迄(三吋九十六間下水布設に伴ふ變更)明治町二丁目(現在空地の中央に十字形に三吋二百四十間新設)旭町一二丁目に通ずる新道路(三吋八十五間新設)黃金町二丁目水下洞普通學校前通(三吋百二十五間)南米倉町より南大門通五丁目鴻造聯絡(三吋二百五十間)吉野町より三坂通を經て練兵場に至る(四吋一千百九十二間)蓬萊町二丁目下水に沿ふ新設(四吋四百五十二間)なりと

人事消息

▲岡田虎輔氏(專賣課技師)　耕作組合設置方勸誘事務監督の爲め二十六日より京畿、忠北、江原各道を巡察

▲穗積眞六郎氏(總督府試補)　近衞師團第一聯隊へ入營の爲め二十六日内地へ

▲拵札季藏氏(平壤土木局出張所技師)　土木事業監察の爲め二十五日平安南北道視察

▲岡本至德氏(咸興地方法院檢事正)　二十六日入京不知火旅館へ

▲野村敬治氏(高知縣捕鯨會社重役)　二十六日入京淸光館へ

▲桑原咸北道長官　二十六日入京巴城館へ

▲八田吉平氏(咸北技師)　二十六日入京同上

▲山川仁市氏(青森縣種馬所長)　二十六日入京天眞樓へ

▲鈴木敏夫氏(德島縣農業技師)　二十六日入京天眞樓へ

▲金田實太郎氏(同上)　同上

▲村田俊彥氏(東拓理事)　北鮮方面に出張中の處二十六日歸任

▲小林大佐(京城在鄕軍人會長)　二十七日出發東上

▲中倉中尉(新任和顏憲兵分隊長)　二十七日内地より入京

▲宮本敬藏氏(忠北技師)　二十七日入京浦尾に投宿

▲石井登吉氏(慶南技師)　同上不知火に投宿

▲佐藤政次郎氏(平北技師)　同上巴城館に投宿

▲指宿武吉氏(忠南技師)　同上

▲アランチ氏(トーマスクック會社東洋總支配人)　同上朝鮮ホテルに投宿

入院隨意(普通病室並に隔離病室)
京城旭町一丁目「鈴木醫院跡」
小林醫院
醫學士　小林千壽
電話六九二番

開店七週年記念
福引景品附大賣出
期間　十一月廿日より十二月十日まで
一御買上高金壹圓毎に壹本贈呈す(但空籤なし)
一即時現品引替御渡可申候
京城本町三丁目
(庄)橋詰呉服店
電話一八〇二番
振替京城一五六番

諸官衙御用達
洋藥賣藥　醫療及試驗器械　卸問屋
くすりは山岸
懇切叮嚀、迅速確實に市内配達及び地方通信販賣致居候
京城本町二丁目郵便局前
山岸天佑堂　藥品部　器械部
電話　一二二　一〇一七　六〇二
振替貯金口座京城二〇五

貯蓄預金　元金百圓ニ付日歩壹錢四厘　金壹錢以上何程ニテモ御預申候
株式會社長崎貯蓄銀行代理店
株式會社十八銀行京城支店
京城黃金町電話四三〇番五八〇番　振替貯金口座京城八〇一番
同　龍山出張所　龍山旭橋町　電話一八番
諸預金貸付爲替銀行一般ノ業務ハ精々御便利ニ取扱可申候

抹茶　會席
松秀庵　白水
新築中の離座敷及温突座敷落成仕候
御宴會等は特に勉强仕候間御用命奉願上候
京城旭町一丁目公園下
電話(一七一四番　三九一番)

西洋料理
カフェータイガ
例年の通り牛、鷄、鴨すきやき相始申候
御立寄り願上候
南大門通三丁目
電話二五七一番

▲早くて安い一時間寫眞。ひると變らぬ夜間撮影
京城寫眞館
本館　南大門通三丁目　電話一〇四〇番
分館　永樂町二丁目　電話二三四九番

▲日支の[illegible]……たる重砲オデ[illegible]

印度叛亂煽動 在支那の獨逸ありて支那に對し帝政承認媾和加入に熱心に運動しつゝありたりと傳へた

●[illegible]馬賊討伐 法庫縣北方の馬賊討伐命令を受けて出發せし二十七師騎兵二十七團第二[illegible]長は二十四日朝十時發京奉線にて砲兵二十七團第三營一連騎兵第一營一中なりに急派し[illegible]が民界目下の財政狀態[illegible]募金[illegible]

●殖民地公債法 [illegible]の制限額ありて今日迄の[illegible]事業會計より融通する[illegible]資金に計上[illegible]朝鮮臺灣に於ける事業公債法改正に關しては大藏省主として之れが取調[illegible]は一般會計より借入れ居れるが大藏省及に内務省にても中央政府の財政[illegible]したりと因に政府は兩殖民地に於ける該制限額の不足を豫測し居れるを

●我が水兵赫怒す

新嘉坡にて印度巡査不法の暴行

新嘉坡よりの歸客談に曰く約二箇月間同港碇泊中の日本軍艦秋津洲乘組員と印度巡査の大々的衝突事件あり事は去月卅一日午後半舷上陸の一水兵は同地花街を散策中途上馬來印度巡査と搔違ひたるが事件の原因にて巡査は威丈高に乘組員の腕を執りて引き行かんとし水兵は左はさせじと抵抗せるより巡査は大に激怒し警笛を吹鳴らすと同時に附近に居合せたる六七名の

▲**印度巡査集合し** 來りて水兵を中に取圍み一場の格鬪を始めたるが此體を見たる在留邦人並に靑樓にありし乘組員は捨て置けずと驅け付け來る一方騷ぎは各方面に傳はりて馬來印度巡査及び支那人彌次馬等瞬く間に密集し來り茲に一大修羅場を現出したるが日頃官憲を笠に威張散す彼等巡査の振舞を小面憎しと思ひ居たる在留民は時こそ來れと彼等に渡り合中二名の巡査を半死半生の體に毆りつけたれば巡査等も其勢ひに辟易し一先づ群衆中に姿を潛めて逃走し一時その場は治まりたり而も執念深き彼等巡査は之に報復せんとてや

▲**水兵の歸艦時刻** を見計らひ水兵の棧橋に急ぐ通路に彌次馬と共に待伏て日本水兵と見れば誰彼と容赦なく之を包圍して亂打する有樣に全く花街の騷を知らぬ人々は大きに面喰らひたるも降り來る火の粉は拂はねばならず已むなくメスを閃かして彼等に渡り合包圍を突破して難を免れしものありしが中には衆寡敵せずして遂に彼等の爲に囚はれ官憲に引かれし者五六名に及べり此騷動の最中心利きたる邦人は宙を飛んで棧橋に注き有りし次第を報じたるより本艦にては時を移さず『總員上がれ、四列側面縱隊集まれ、驅足進め』の號令と共に現場に急行したれば爲めに電車も一時は

▲**運轉を休止する** に至れるが群衆は隊伍堂々足並揃へて驅來る吾水兵の猛威を見て一時に道を開き中にも前刻來印度巡査の蠻行を口惜淚を呑んで見物してゐたる邦人は狂喜して警察に吶喊せよと叫び水兵亦逸りに逸るを指揮の將校は止まれの號令と共に暫し艦長の命を待つ間もなく

▲**艦長領事等も驅** け付けたる漸く騷擾を鎭靜し本艦に引上げたるが翌朝艦長は英國政廳に對して『吾兵員が印度巡査を相手に騷動を起したるは誠に遺憾とする所且深く恥づる所なり』との意味の挨拶をなしたるに對し英國側よりも『貴國の如き立派なる軍人を無智なる馬來印度巡査に取扱はしめたるは英官憲の落度にて今後は相當の智識ある英人の手に取扱ふべし』との意味の挨拶をなし無事解決したるが一時は新嘉坡の天地は戰亂の巷の如き騷擾なりし（司）

●仁川海岸は叺の山

棧橋の兩側に和船五百隻の檣が林立　千人からの検査員仲買仲仕のさはめき

米穀出盛り期に入つた今日此頃の仁川海岸斗量場を覗いて見るに長さ一町余巾十四五間もある大廣場は米の叺の小山で蔽はれ斗量場前の棧橋の兩側はさらなり斗量場に沿ふ岸下は一寸見ても三四百隻はあらうと思はれる穀物船が繫留してゐて其の檣が林の如くに立つて居り叺の小山と小山の間を忙がしさうに斗量器や検査器を持つて往來する仲仕や仲買や検査員の數は千人以上であるさは日鮮の出盛目でなく永松検査員の談にてある船から叺を背負いて斗量場に又検査が濟で斗量場から倉庫に運ぶ樣は宛然叺の行列を見る樣で素晴らしい景氣はよく筆紙に盡し得る處でない例年此頃の出盛りになると同樣盛況を呈するのであるが此頃は大阪この定期の鞘が四圓以上もあつて引合ふ爲昨報の如き大移出があるのに共進會の爲めに地方の經濟界が多少不況に陷つた結果小農は賣急の氣味がある爲めに近來の出穀は一際目立つて來たのであるとの事

●八百二十圓の俸給の包

不敵なる鮮童＝高陽署のお手柄

東拓纛島出張所勤務會計主任德久某が去る二十五日社員の俸給支拂ひ準備の爲め京城第一銀行支店より現金八百二十圓を受取り正午頃舍宅に歸り更衣をなす際

▲**別室の机上に** 該金を風呂敷包みの儘置きたるに間もなく右の金員紛失し居ることを發見し大騷ぎとなり早速所轄高陽警察署に急報したるより同署に於ては相當手配をなし犯人は同家へ約一箇月以前より雇ひ居れる鮮童ならんと目星をつけ行衛不明となりたる同人を搜索したるに不敵にも彼は家人の隙を窺ひ高陽郡漢芝面新水鐵里方面を迂廻し京城に出で黃金町路上を徘徊し居るを同日午後三時頃高陽署の手に逮捕したるが彼は同署の敏活なる働きに依り費消する遑なく右の現金全部を所持し居たり尚別に本月二十二日午後八時頃にも東拓纛島出張所舍宅大竹某方に忍入り現金百九十六圓格納しあるもの、內三十一圓を竊取し二圓餘を消費し殘金約二十九圓を所持し居たるを以て早速

▲**本署に引致し** 取調べたるに彼は京城八判洞生れ金壽夫（一六）と云ふ者にて尚昨年中にも京城水標橋雜貨商馬場某方に雇はれ中同家家人の隙を窺ひ現金十圓を竊取して活動寫眞見物に消費したることも自白したる由なるが其他兩三箇所の京城內地人宅にても小泥棒を働きたること判明し二十七日檢事局送りとなれり末恐ろしき鮮童といふべく鮮人の雇人は一般に注意すべき事なり

●意氣凜たり六百の健兒

壯絕快絕なる白兵戰　宛ら實戰を見るが如し

毎時軍隊同樣の尚武的精神を涵養しつゝある京城中學校にては廿七日午前六時より壯快なる野外演習を擧行した、此日全校六百五十名の健兒は教官岡村大尉統裁の下に

▣**南北兩軍の二隊** に分れ北軍は京城より北方二里餘程なる京義線水色停車場を攻擊奪取する戰鬪であつた而して南軍はこれを固守し南軍共主力の師團は京城北部の鞍山より仁王山に亘る一帶の線で激烈に交戰と想定して先づ五年、三年、一年生より編成されたる大隊は麻浦街道より右折大峴洞から戰備行軍に移り北軍の

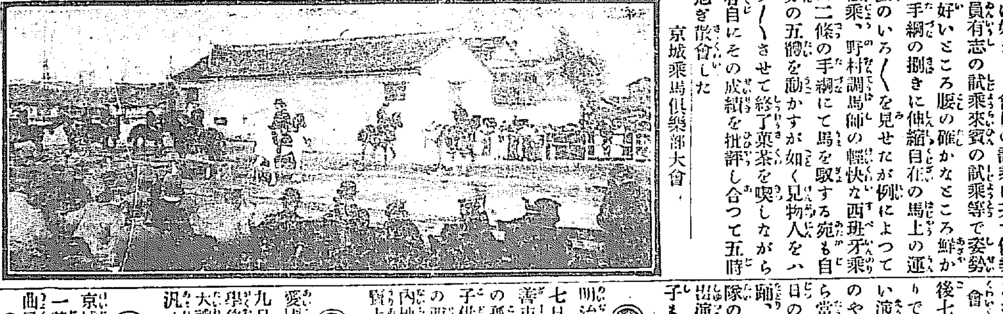
▣**左翼を一突きに** 擊破して呉れんの意氣込み、又四年二年生を以て編成されたる北軍の大隊は軍の最右翼たる京義線水色驛に防禦工事を施しつゝ鐵道沿線を北進し來る南軍を邀擊せんと手具脛引いて待ち構へたれば愈よ午前十時頃水色驛東方の廣野にて兩軍互に砲火を交へ加ふるに機關銃隊の猛射を開始したる時は左ながら實戰同樣の壯觀を呈し最後に壯絕快絕なる白兵戰となり兩軍鯨波を擧げて一齊の大突擊に移つた際の如きは

▣**血湧き肉躍るの** 壯觀であつた、斯て第一回の演習を了り一時少憩の後再び壯烈なる第二回の演習に移りたるが今度は初めの攻擊軍が退却軍となり防禦軍が追擊軍となり水色より麻浦北方の細石洞まで約一里半餘の驅足行軍を續けし上此處にて又南軍は味方の漢江渡河を援護せん爲め必死となつて細石洞一〇五高地を頑守し北軍又猛烈に突擊を試み茲に復壯快なる第二回の白兵戰を現したるが兩軍共年少氣銳の少年達なれば其の勇壯なる動作も感嘆の他なく斯くて岡村統裁官の講評を了り勇ましく校庭に歸つたのは午後三時であつた猶ほ當日生徒には一名の負傷者さへ無く衞生隊は頗る手持無沙汰で歸つたのも勇ましい事であつた

●風呂敷より血染の小刀

丸木橋を渡る際逃走を企てし曲者

去る二十二日午後十時頃高陽警察署の警官が私服にて高陽郡水色停車場附近を密行中擧動風采怪しき一鮮人通行し苑りなるより誰何したるが一應駐在所迄同行を求め同件中小川の一本丸木橋を渡りたる際件の曲者は突然逃走を企てたるより直ちに追跡し格鬪の末遂に取押へ本署に引致し取調べたるに顏つき頗る獰猛にて堅く口を噤みて實を吐かず自ら江原道鐵原郡先岩里生れの朴鎭善（三〇）なりと稱し黃海道に行く途中なりと申立てたるが同人の所持品を取調べしに旅行用の白風呂敷に防寒頭巾覆面、麻繩卷脚絆及び麥酒瓶の頭に嵌めある金屬を二個針金にて鎖り合せたる合圖器、血痕附著し居る小刀等を所持し居れり是等の所持品より見れば多分強盜團の片破なるべく目下引續き嚴重取調中



京城乘馬倶樂部大會

●鮮かな手綱の捌を見せた

乘馬倶樂部大會

小春日和の二十七日午後二時から黃金町の京城乘馬倶樂部の馬場で同倶樂部の秋季大會が行なはれた、此の日土曜日の事とて會員一同は勿論、鈴木、關屋の兩局長、小松翰長、菱田通譯官等の熱心家が乘馬服甲斐々々しく姿を現はし總監部の中野保安、板東衞生各課長、大橋少佐その他の來賓も多數見受けた、先づ調馬索運動に始まり、會員の試乘に次で倶樂部員有志の試乘來賓の試乘等で姿勢の好いところ腰の確かなところ鮮かな手綱の捌きに伸縮自在の馬上の運動のいろ／＼を見せたが例によつて輕乘、野村調馬師の輕快な西班牙乘は二條の手綱にて馬を馭する宛も自分の五體を動かすが如く見物人をハラ／＼させて終了菓茶を喫しながら各自にその成績を批評し合つて五時過ぎ散會した

●白耳義に同情する優しき心

慈善音樂會開催

京城の各國領事夫人たちはこれまで獨逸軍に踏みにじられた白國の寡婦及び孤兒に同情して色んな方法の下に義捐金を募つて居た中には各家庭で順番にお茶の會を催ふし各五十錢宛醵金しては零細な金でも送つて居た併し約一年有餘日も續いて來た今日では各領事夫人だけの纖弱い腕に力及ばぬところも尠くないので切めてもの上は日本婦人の溫かい情けにお賴みするより他は無いとて這回京城の日本婦人方に相談があつた、それで日本人側では石塚、渡邊、持地、鈴木、關屋、金谷の各夫人及び龍山佐々木病院長夫人が委員として斡旋し毎月十錢宛の義捐金募集した處別に趣意書も規則書もなくたゞ口づてに設立されたるにも拘はらず昨今入會

●淑女院慈善市

明治町佛蘭西教會內淑女院では二十七日午後から教會內で孤兒收容の慈善市を開いた、賣品は同院に收容中の孤兒二百名が造つた手藝品である子供の涎れ掛、帽子等であつて在留の西洋人の家族打揃つて來るもあり內地人の婦人も大分見えて可なりの賣上があつた

●愛婦大禮講話

愛國婦人會朝鮮本部役員有志は二十九日午後一時より京城ホテルに關屋學務局長を聘し親しく拜觀したる御大禮御儀の模樣に就き講話を開く由汎く會員有志の參會を望むと

●女學校演奏會

京城高等女學校にては二十八日午後一時より同校講堂にて音樂會を催す曲目左の如し

（第一部）▲オルガン合奏君が代▲春陽三部合唱▲ピアノ獨奏練習曲▲結婚三部合唱▲賢女の胸中二部合唱▲甲、秋の野乙、シスター二部合唱▲ピアノ獨奏ソナティーナ▲甲、チーターロー乙、嬉しき我家▲甲、犬と猫乙、なんだつけ▲此の君此の國二部合唱▲蝴蝶

（第二部）▲オルガン合奏進行曲▲秋の夜獨唱▲人麿作歌▲はたらき男二部合唱▲船人獨唱▲甲、恩愛の歌二部合唱乙、我が世樂し三部合奏▲ピアノ連彈▲我騎兵士▲光▲亡友を追ふ獨唱▲オルガン獨奏（シンフオニー）▲婦人獨唱小島▲箏▲萬歳

●仁川奇特者表彰

仁川府管內居住者にして公益事業等に金品又は土地等寄附者に對し相當表彰方其筋に申請中なりし處此程道路寄附者佛蘭西教會員寄贈者アマリヤウルタン夫人に對し各三組木盃を樹木寄附者田中鎚橋、金員寄贈者加來榮太郎、伊勢爲吉、素砂學校組合森常吉、村田善吉、和田雄治の諸氏に對し各木盃一個宛を下賜されたり

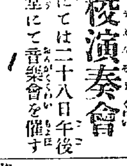
●日出校鮮語教授

日出小學校に於て本月一日開設したる補習夜學校は開校後日尚ほ淺きも入學者漸次增加し來り現在七十餘名の生徒ありて國語、算術、珠算、簿記、商

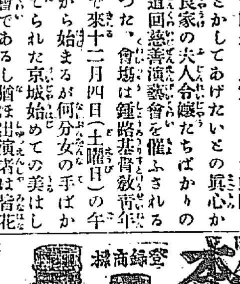
●市原家の寄附

市原家當主玄氏は故總裁長逝の際各方面より寄贈せる供物の答禮に代へ阿蘇神社、橫濱孤兒院、東京市養育院、日本女子大學校附屬豐明幼稚園、東京基督教會、京華中學校、京城普隣商業學校、淑明女學校、朝鮮銀行員𥡴睦基金、京城基督教青年會等に對し各金若干圓を寄附したりと

◎矢島畫伯歸京　晩秋の金剛山風光探勝中なりし矢島大華畫伯は二三日前歸京し直ちに同山風景執筆中なり



別府溫泉で客死した前田統造君は元熊市と云つたものだ▲所が昨年の春だと思つて居るが例の哲名術とやらが京城に舞込んで來た▲時の前田熊市君も物好きに占つて貰ふと熊市と云ふ名は甚だ不吉な名だから是非改名をしないといけないと云ふ▲根が正直者の熊市君グツト怖氣がつき面倒臭い戸籍上の手續迄して統造と名を改めた▲所が思ひきや間もなく本年の一月から病身となり遂に別府に出養生となつたが惜しいかな今回訃報を傳へらるゝとなつた▲碧梧桐の書いた書に『崔嵬』と云ふのがある▲所が不思議にも此書を持つて居る家には凶事が多い▲京城でも某知名實業家の宅に此額がある▲が若主人が死ぬる子供が死ぬるそして家族中に病人が絶えぬと云ふ始末▲此間も碧梧桐が來た時に話して見ると內地でも殆んど同樣の事實があつたと驚いて居た▲崔嵬とは非常に險しいと云ふ意味だからして碌なことのあらう筈はないが▲凶事をサイガイなく出されては困るは洒落にしても凄い



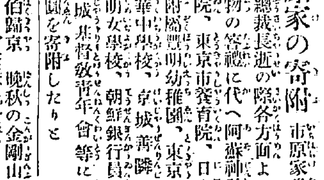
各宮妃殿下及宮內省御內儀御用之光榮を拜せり
●九條公爵家始其他華族貴顯方御愛用の榮を蒙れり
各博覽會にて金銀牌受領
●注意　二婦人共頭上桶なきは僞物
定價　廿錢、卅錢、六十錢、一圓
髮を黑く長くつやを出しさら／＼として髮のぬけを防ぎあかつかざる事妙なり

染めたと見ねぬ髮の染方

從來の人の染めた髮を見ると、如何にも際立つて態とらしく、色澤が一般の人の髮と違つて、一見染めたと分ります。其上其樣な黑い色が首に附き枕に附き、觸る物何にでも附き、直に剝げて終ふといふ工合で、自然の美い髮の毛のやうな色澤に染る染毛劑は在ませんでした

けれ共其後染毛劑は追々進步して以前のから見れば稍良いものが出始めましたがまだ／＼自然の髮の樣に都合よく染らぬ。染め度い事は染め度いが染色が餘り不自然で卻て目立つので困ると言つて遂ふ有樣でした。

毛を染める必要のある人々が、斯うして何非常な不自由を感ぜられてゐた所へ、漸う完成發賣されたのが現今最も進步した白髮赤毛染として各家庭に賞用されるナイスです。



成程專門の學者が長い間研究を積んで完成した丈けあつて、ナイスで染めると少しも態とらしい所が無く何うしても染めたとは見えず、丁度生れついて毛の美い人の髮のやうな色澤に染まつて、束髮でも日本髮でも非常に結榮えがし、又年とつた方にでも少しも不似合の事が無い自然的の色澤に染まり、其上染方は何の造作もなく、時間は僅か二十分で染上り、保はよく、外へは絕對に附きませぬから、今では白髮染といへば何人も大阪丹平商會發賣のナイスで髮を染めるのが極のやうに成りました。一度ナイスを使つた方は、二度と再び外の染毛劑をお使ひになりません。もしも未だナイスを使つた事のない方は早速試して御覽なさい屹度御滿足なさるに違ひありません。先般南洋スマラン大博覽會に於て名譽銀牌を受領し、今回又々衞生博覽會で金牌を受領の光榮を得ましたが幾多の染毛劑中でかゝる名譽を得ましたのはナイスのみであります。以て本品の如何に優秀なるかを知るに足ります。發賣は有名な健腦丸本舖大阪心齋橋の丹平商會、東京は日本橋箔屋町丹平支店で定價は小瓶三十五錢男子用廿五錢、大瓶六十錢、各藥店化粧品店小間物店にあります。僅の違ひで廉い染毛劑を買て御後悔遊ばすな。

新刊書御案內

書名	著者	定價
波動振動及避雷	鳳秀太郎	四五〇
支那政治地理誌下卷	木村欣一	三五〇
鐵道	高木太郎	一五〇
ゼエレン、キエルケゴオル	和辻哲郎	二五〇
心靈學講話	高橋五山譯	八五
和漢名士參禪集	忽滑谷快天	一〇〇
三宅雪嶺修養語錄	生田弁月	五五
會社員物語	午後迂人	三〇
怪美人	宮地竹峰	八〇
探偵ロマンス	松崎天民	九〇
北方の流星王	泉作元八	八五
生花秘傳集	阪正臣	四五
大正いろは引大辭典	物集高見	八〇
作文問題答案文例	栗原迂山	六五
ペン習字法及手本	三浦告渠	八〇
國土より國民へ	三宅雪嶺	一二〇
列強の不安と野心	岡中淳	六〇
國民教育論	大隈重信	三〇
經濟より見たる道德	福田德三	八五
假名貞觀政要	米田與定	一〇〇
早く彈ける珠算の覺方	大阪中本	六〇
廣告と販賣	佐々木十九	一二〇
腦を寄せぬ勉強法	吉田博士	五〇

大阪屋號書店　京城本町　電話二〇八六　振替京城二五七三

京城壽座前　太平堂名刺舖　電二七一二　振替三三六七　地方は郵送料不要

父統造儀病氣の處養生不相叶去る廿六日午後五時貳拾分靜養地に於て死去致候葬儀は途中行列を廢し十二月二日午後二時市內新町高野山に於て葬式相營み申候乍勝手亡父の遺志に依り供花放鳥等の御寄贈堅く御辭退申上候此段謹告仕候也

十一月廿七日

男　前田壯次
親戚總代　前田龜藏
友人總代　進　辰馬

葬具萬般整頓罷在り斯業に經驗深き者專ら業に當り如何なる御儀式にも決して差間無之候
京城大和町一丁目（總監部通）
大和葬儀舍　電話二四三八

電一五六七番　旭町二丁目（名古屋城下）
株式會社京城葬儀社
本社は支店出張所等無之に付御用の節は直接御用命願上候
靈柩馬車の設備有之候
中河原重吉　井上芳太郎
電話九五七

千生瓢(53)

須藤南翠作 筒井年峰畫

第一戰(六)

三千の勢を持場〱に配置して、大岩山の呰を嚴重に固めさせた中川瀨兵衛清秀は、嚴かに軍令を下すのであつた。

『面々今宵は快く睡れよ。越前勢のこれに押寄するは、明日黎明より疾い事はないぞ。夫まで目を覺して、夜明ぬうちに心靜かに兵粮を遣へよ弓射る者は弦喰ひしめし、矢束解いて膝に置け。鐵砲うつ者は、彈藥を込めて、筒口を狹間に置け。敵間近く寄するとも、我が下知を聞くまで矢一筋、丸一發、決して放つこと罷相成らぬぞ。鯨波の聲に敎唆されて聲を和すな。呰中人なきが如く、鳴りを鎮めて下知を待て。心得たか。いざ寢よや』

此令を下すとゝもに、自身も大鼾をかいて、寛かに熟睡した、今にも敵に襲はるべき陣中とは、更にも見えないのであつた。

大欠伸をして薪と目を瞬らいたのは、既に五更を過なんとする頃であつた。清秀は櫓に上つて物見をするに、遥に谷間に方つて、仄に旗の手の動くのが見えた。

『夜を籠て寄せ居るわ。鬼と呼ばれる佐久間が手並、始めて見るが樂みぢやよ』

清秀は一わたり敵の距離を見定めて、飾に櫓を降つた。而て腹盈ちるまで朝餉をしたゝめて、日來好む所の緋系縅、同じ毛の十王頭の兜を取つて豬首に著なし、大身の槍の双廣なのを、小侍に擔がせ、家の旗押し立て、馬を牽かせて、其身は床几に腰をかけた。

此時夜はひき明けて、越前勢は山の麓に犇々と押寄せ、鯨波を哄と揚げながら、先を爭うて取り登つた。清秀は固く下知して、雜兵小廝に至るまで、一言を發せしめなかつたので、呰の内は寂として、更に人ありとも思へなかつた。先陣に進んだ拜鄕五左衛門、塀近く進みながら、この沈默に疑念を生じて、再び鯨波を上げさせたが、唯其聲の徊に響くばかりで、殆ど深夜の靜けさであつた。併しながら旗指物は朝風に飜へり一鳥枝に止らぬ所を見ると、呰中兵の充滿してゐる事は明かである。五左衛門は斷として勇決して、三たび鯨波を揚げさせた。其聲の切れる時

『放て!』と一令を下したので、鐵砲組は筒先を揃へて、一齊に發砲した弓組は鏃を揃へて、一齊に引放した矢丸の雨を注ぎかくるや、

『取りかゝれ!』

哄然喚く武者聲もろとも、土の乾かぬ城壁に肉薄して、今や塀に手をかけようとする時。

『時分は好きぞ、ぶつ放せ』

清秀が一令の下、弓鐵砲を一時に發したので、魚鱗に備へた越前勢、矢庭に六七十人打殪された、一發、又一發、箭は篠の如くに飛び、丸は霰の如く降る、流石氣負の北國勢も面を向くべきやうなく、思はずたぢ〱と引き退く。

『敵の足は浮き立つたぞ、今が大事ぢや、脫すな者共』

機を見て廻す清秀が鋭き下知、心得たりとさし詰め引き詰め、射落し打ち下す猛射を浴て、寄手は勢ひ白みわたつた。大將拜鄕五左衛門尉久盈齒かみなして、鞍壺に突立ち上り

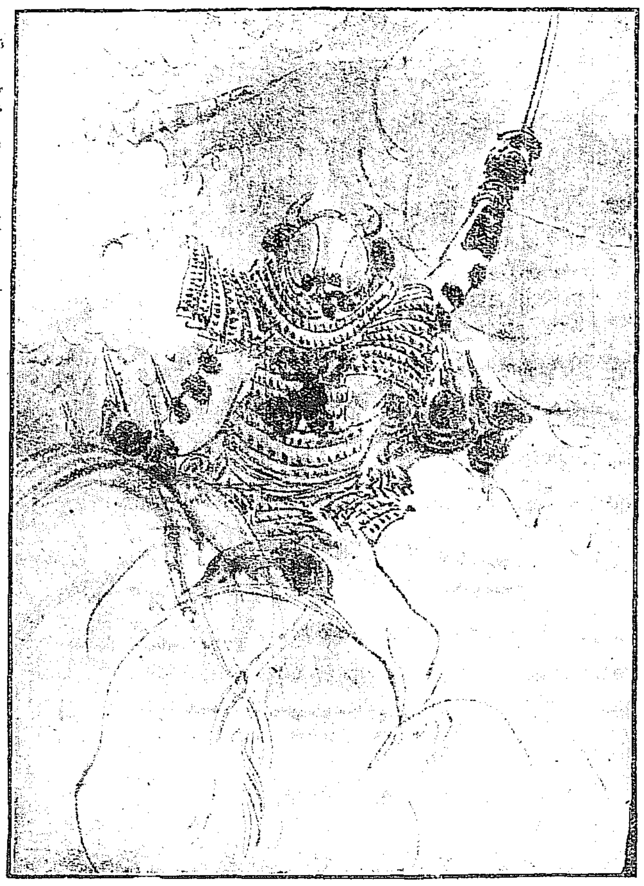
『是ればかりの呰一つ踏み破るに、逡巡するやうやある、一旦攻めかゝつた呰、攻め落し得ぬ程なら、故鄕へ歸る事はならぬわ。來れや者共、死ねや者共』と大音聲に罵り勵し、眞先に馬を前めた。

此一言に勵された北國の勇士二百餘人、兜の錣を傾けて、面もふらず攻めかゝる。

『矢頃は好きぞ、彼うてや』

清秀はまた下知した、弓鐵砲つるべかけて射出し、打ち出し、見る間にまた五十騎ばかり打ち留めたので寄手はまたもや引き退く。

斯くと見た五左衛門尉久盈、驅け廻り〱、激しく下知を傳へたので北國勢また盛返して、打てども射れども些とも怯まず、一散に呰に取り付き、曳々聲して攻めかゝつた。



新刊紹介

△墜落の日まで(星野來三著) 著者は民間飛行家にして夫の慘死を遂げたる武石浩波氏と共に亞米利加に學び歸朝後民間で飛行界に雄名を馳せ居れり本書收むるところ飛行家志望者校在學日記萬國飛行免狀試驗飛行家さる女飛行の感想、飛行家生活の斷片墜落の那、通俗飛行講話賀川飛行の話等あり(六十錢東京麴町一番町三三大鐙堂)

△御大典記念畫報(婦人畫報增刊) 御大典に關する高貴の御寫眞數十葉皆鮮明美麗にして加之石版數十度刷の各御式の圖あり皆各名家の謹寫せるものなり記事には諸名士の御大典に關する談話寄稿識記事に口繪に記念號と銘せるだけあつて御一代の御盛儀を記念するによし(本號に限り一部六十錢東京京橋區弓町東京社)

△現代の圖按(第二卷第九號) 本號は卒親號として御大典に關する口繪記事多しその他石版數度刷りの新意匠マジヨリカ皿數葉あり(一部廿五錢名古屋市區志摩町 深川圖案研究所)

△學生、御大禮讀報(第六卷第十三號) 特別附錄として御鹵簿及び御即位圖の大寫眞を添付せり、その他鮮麗なる御大禮寫眞數十葉、各名士の御大典感想等例に依り記事豐富なり(一部本號に限り廿四錢東京神田富山房)

◎レート化粧料進物箱 レート化粧料本舖平尾贊平本店にては例年の如く歲末歲始進物箱を發賣したるが外觀極めて高尚優美なる桐箱入にて十四種入三圓九種入二圓六十錢六種入一圓三種入六十錢の手頃なる價格なれば婦人向贈答品として最適當の品なるべく多大の好評を博し賣行盛んなりと

滿蒙處分論 露國クロパトキン將軍原著 日本大井包高譯 定價金一圓 郵稅本社負擔 京城日報代理部 振替貯金京城三〇〇番

京日案内

●普通 一回前金三十錢(無割引) 署名一回毎に金五錢增

●店員入用 齡十四五六高小學卒業程度希望者市內確實保證人要す ●京城本町二丁目 ちゝぶや 76

●日鮮人外交社員募集保證人要す給料面談履歷書携帶本人來談あれ ●京城黃金町一丁目六〇番 △西村 69

●望讓受 廿坪內外のバラック建てを讓受度し ●京城本町三丁目 ○電話一五五九番 △大山商店 77

●貸家 日本建溫突付三室至極閑靜 官吏向 管理者 漢陽公園南異 龍山印刷局先 畑中 79

●貸家 萬千閣右石段を上りて右折下り口水道付平家三間家賃八圓 黃金町電話二三三六番 碇寫眞館 78

●電話讓渡す 京城一一三六番の電話至急讓り渡したし希望者は照會あれ 仁川支那町 義生盛 57

●番外 一回前金六十錢(無割引) 署名一回毎に金五錢增

京城明治町二丁目(元曙町) 朝日牧場 牛乳販賣部 電話二八一八番 ○弊店の特色 乳質安全配達迅速 60

移轉 京城永樂町一丁目十七番地 公證人 山邊勇輔 電話二八四〇番 64

●東京流仕立職先を求む 本職の者に限る確實保證人要す希望者至急本人來談(素人は御斷り) ●本町 三越吳服店 70

京城春川間自働車 乘合 賃金片道四圓 京城發午前七時 ●春川發午後二時 取次 京城明治町一一八四六 支配人 京春自働車商會 松田壽男 935

●番頭店員至急入用 齡十五六歲より廿二三歲迄但吳服商に經驗ある望者本人至急來談あれ ○京城本町一丁目(本城菓子屋隣)四九 木塚製袋市 53

恩給 年金抵利長期立替有價證券買賣當店特色現金即時取引 京城永樂町一ノ四四 總督府商品陳列館前 江州屋代理店 江州屋 858

恩給年金類立替 京城武橋町二十三番地 京城日報社北右に入る 電話二二八三番 國江商會 859

新龍山三角地の むしぶろ どんな病にも能く効く必ず一度御試しなさい

流經新藥レスノリン 月經閉止經過四五ケ月以內ニ應用ノ目的ヲ達シ其流經作用ノ確實ナルコト他藥ニ優越ス ○藥價一瓶二圓送費內地切手一割增 說明書三錢切手添呈 振替大阪二八三七〇 大阪北區曾根崎上一ノ錢觀堂筋 發行所 常盤藥院

元祖キナコ饅頭 壹個壹錢 元祖ソバ饅頭 壹個壹錢五厘 京城明治町二丁目(耶蘇教會通) 元祖燒餅製造元 長崎名物屋

七日ツケタラ鏡をごらん色白くなるゲンソ液 (價廿錢)

今東京で大評判の白美の元素アレ性の人色黑き顏赤き顏日ヤケ白粉ヤケを防ぎ根本的色白く眞の美人美男子となる 全國の藥店小間物店にあり近所に品切の時は直接本舖へ參錢郵券七枚送れば送品す 東京神田和泉橋際 松本藥店

クラブ白粉

宮內省御買上 皇后宮職御用

使へば使ふほど自然にお顔の生地迄白くなる

クラブ白粉は

不思議に生地の色までも白くする

各宮家御買上 李王家御買上

最近發明のクラブ本店獨特の美身劑を今回新に配合せり

クラブ本店化學研究部で最近發明しました最新式クラブ白粉の原料には不思議に生地の色までも白くなるクラブ獨特の美身劑が配合してありますから附けた時に高尚で美しい艶が出るばかりでなく洗つた後の生地の色までも白く美しくなるので近來東京大阪は勿論全國大都市の御婦人間には白粉はクラブばかりが用ゐられるようになりましたクラブ白粉は附けて高尚で非常に美しく洗つた後の生地の色までも白くなる不思議な白粉であります

化粧石鹼ライオン

商況

△後場の商戰